

# 事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分、「一部、令和7年度分を含む」)

静岡県立磐田南高等学校

# 目 次

1	事務事業の概要	(教育委員会 1)	1
2	事務執行の根拠法令調	(教育委員会 1-2)	17
3	学校施設の概要	(教育委員会 2)	19
4	在籍生徒調	(教育委員会 3)	21
5	入学志願者及び入学者数調	(教育委員会 4)	23
6	卒業生の動向調	(教育委員会 5)	25
7	生徒の状況	(教育委員会 6)	26
8	歳入予算執行状況調	(様式第 5 号)	28
9	県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	(様式第 5 号- 2)	32
10	授業料収納状況調	(教育委員会 8)	34
11	現金出納調	(様式第 7 号)	38
12	預金調	(様式第 7 号- 3)	39
13	郵券等受払調	(様式第 7 号- 4)	39
14	歳入歳出外現金調	(様式第 8 号)	40
15	歳出予算執行状況調	(様式第 10 号)	41
16	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	(様式第 10 号- 2)	47
17	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	(様式第 10 号- 3)	47
18	委託料に関する調	(様式第 11 号)	48
19	負担金支出調	(様式第 13 号)	53
20	建築工事調	(様式第 19 号)	54
21	公有財産調	(様式第 22 号)	56
22	借地借家等調	(様式第 26 号)	57
23	事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	(様式第 26 号- 2)	58
24	行政財産貸付・使用許可調	(様式第 27 号)	59
25	普通財産・借受財産等貸付調	(様式第 27 号- 2)	60
26	備品・図書調	(様式第 29 号)	61
27	主要備品調	(様式第 29 号- 2)	65
28	職員調	(様式第 33 号)	66
29	職員の年齢調	(様式第 34 号)	70
30	健康管理	(様式第 35 号)	71

## 事務事業の概要

## 1 概況

## (1) 学校の沿革

- 大正 9. 6. 16 文部省告示第 347 号によって、磐田郡見付町に中学校を設置し、大正 11 年 4 月 1 日から開校が認可された。
11. 4. 1 開校。静岡県立見付中学校と称する。
- 昭和 23. 4. 1 新学制施行に伴い静岡県立磐田第一高等学校と校名変更
24. 4. 1 静岡県教育委員会告示第 9 号により校名を静岡県立磐田南高等学校と変更
37. 4. 1 定時制課程（夜間）が併設される。募集定員 40 人
38. 4. 1 全日制課程募集定員、普通科 350 人となる。
42. 4. 1 定時制課程（昼間）が併設される。募集定員 80 人
43. 4. 1 全日制課程募集定員、普通科 336 人なる。
44. 4. 1 全日制課程募集定員、普通科 329 人となる。
45. 2. 21 北館校舎建築（第 3 期）工事完成
45. 4. 1 全日制課程に理数科が設置される。全日制課程募集定員普通科 276 人、理数科 40 人、定時制課程（夜間）募集定員 80 人となる。
45. 8. 15 第 2 体育館新築工事完成
46. 4. 1 全日制課程募集定員、普通科 270 人、理数科 40 人となる。
47. 3. 20 南館校舎建築工事完成
48. 2. 20 柔剣道場新築工事完成
49. 4. 1 全日制課程募集定員、普通科 315 人、理数科 40 人となる。
53. 4. 1 定時制課程（昼間）募集停止となる。
55. 4. 1 定時制課程（夜間）募集定員 40 人となる。
56. 3. 31 定時制課程（昼間）閉校となる。
57. 4. 1 全日制課程募集定員、普通科 270 人、理数科 40 人となる。
58. 4. 1 全日制課程募集定員、普通科 315 人、理数科 40 人となる。
61. 4. 1 全日制課程募集定員、普通科 360 人、理数科 40 人となる。
- 平成元. 3. 15 プール改築工事完成
- 元. 4. 1 全日制課程募集定員、普通科 450 人、理数科 40 人となる。
2. 4. 1 全日制課程募集定員、普通科 405 人、理数科 40 人となる。
3. 3. 25 部室新築工事完成
4. 4. 1 全日制課程募集定員、普通科 360 人、理数科 40 人となる。
4. 6. 27 アメリカ・マウンテンビュー高校と姉妹校提携をする。
13. 4. 1 全日制課程募集定員、普通科 320 人、理数科 40 人となる。
14. 5. 15 地震対策緊急整備工事竣工（南館西側、北館）
18. 4. 1 全日制課程募集定員、普通科 280 人、理数科 40 人となる。
22. 1. 29 耐震補強工事竣工（南館東側、体育館）
23. 3. 25 武道場耐震補強工事竣工
24. 3. 16 第 2 体育館耐震補強工事竣工
24. 11. 14 創立 90 周年記念式典を挙げる
- 令和 3. 4. 1 全日制課程募集定員、普通科 240 人、理数科 40 人となる。
3. 7. 13 第 2 体育館及び部室棟（2 棟）取壊し
4. 4. 1 全日制課程募集定員、普通科 280 人、理数科 40 人となる。
4. 11. 11 創立 100 周年記念式典を挙げる
5. 3. 14 校舎棟、部室棟新築工事完成
7. 5. 23 弓道場・テニスコート新築工事完成

## 2 目指す学校像

人格の陶冶を教育目的に、高いところざしをもった人間性豊かな生徒の育成を目指す。

### (1) スクール・ミッション

#### ア 全日制

校訓「質実剛健 真剣至誠 文武両道」の下、磐周地区の「学び」の拠点として、質の高い授業、生徒の自主性を尊重した学校行事や部活動を通じ、確かな学力と健やかでたくましい心身の育成を目指す。

#### イ 定時制

磐周地区唯一の夜間定時制課程設置高校として、少人数授業や多彩な教育活動を通じ、社会人としての基盤及び豊かな人間性の育成を目指す。

### (2) スクール・ポリシー

#### ア 全日制

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
本校では、自らの希望する進路を実現する学力、社会に貢献しようとする意欲、生涯を健康に過ごすための体力を育成します。	本校では、教科の学習を通じて、「知識や技能」の習得、「思考力、判断力、表現力」及び「学びに向かう自主的な態度」の育成を図るとともに、身に付けた高度な教科の力を、より良い社会の実現に向け統合的に活用しようとする姿勢を育みます。	本校への入学を志願する者には、校訓に込められた理念への賛同と、意欲溢れる級友との切磋琢磨により、自らの心身を鍛え、学力を高める覚悟を求めます。

#### イ 定時制

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
本校では、希望進路実現に必要な知識や技術を身に付けるとともに、社会に貢献しようとする意欲と、生涯を健康に過ごすための体力を育成します。	本校では、きめ細やかな学習指導により各教科の力を必要なレベルまで伸ばすとともに、授業内外の教育活動において、実社会と接する機会を豊富に提供することで、適切な進路選択と、その実現を可能にします。	本校への入学を志願する者には、授業を大切にする姿勢と、共に学ぶ仲間への思いやりの気持ちを求めます。

### (3) スクール・ポリシー具現化の柱

#### ア 全日制

- (ア) 自主・自律の精神を養い、幅広い教養と高い倫理観を身に付けさせる。
- (イ) 自主的に学ぶ姿勢及び読書習慣を身に付けさせ、質の高い学力の定着を図る。
- (ウ) 高いところざしを育むとともに進路目標の実現を図る。
- (エ) 課外活動や学校行事、国際交流などを通じ、豊かな人間性を育成する。
- (オ) 生徒の教育相談及び安全対策の充実を図る。
- (カ) 保護者、地域から信頼される学校づくりを推進する。

#### イ 定時制

- (ア) 生徒の自主・自立を尊重し、基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに社会性を育て個性に応じた教育を推進する。
- (イ) 各教科・科目の教育において、基礎・基本の定着に向けた授業改善に取り組む。
- (ウ) 4年間あるいは3年間を見通した進路実現への支援体制を確立する。
- (エ) 学校行事、生徒会活動、部活動等の活性化に努める。
- (オ) 学校施設の安全対策と教育相談体制の充実を図り、生徒が安心して過ごせる環境整備に努める。
- (カ) 教職員がワークライフバランスを意識して業務を推進する。
- (キ) 学校と家庭及び地域社会との連携を深め、開かれた学校づくりを推進する。

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

ア 全日制

取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
徳のある人間性の育成	図書館の年間の貸出数5,000冊以上	12月末時点で約2,000冊で目標には届かなかった。 【目標達成率40%】	D	・積極的に読書に取り組んだ生徒【46.8%】 ・HPの検索や図書館の利用自体は増加したが、本の貸出数は減少した。読書への興味、読書の機会をさらに持たせたい。
	交流を通して互いの文化の良さをシェアする生徒80%	アメリカマウンテンビュー高校へ訪問した生徒の満足度はすべての項目でgood以上が【100%】	A	・マウンテンビュー高校との交流、静岡県主催の各種国際交流の情報から国際交流への興味が増した生徒【56%】
確かな学力の育成	ICT機器を活用し、させる授業を実践する教員100%	ICT機器を授業で活用できる環境を整備し、授業力向上を図った教員【88.7%】	B	・学校はICTを活用した授業を行っているとは回答した生徒【70.4%】 ・若手教員を中心にICT機器の積極的な活用を推進し、ICTを活用した効果的な指導法を模索し、授業力向上を図ることができた。プロジェクター環境が不十分で、整備が必要。
	基礎基本を大切に、授業に主体的に取り組む生徒80%、測定ツールを活用し、授業改善に取り組む教員90%	基礎基本を大切にし、授業に主体的に取り組んだ生徒【89.5%】 学びの基礎診断を活用し、指導の在り方を検証・改善した教員【90.4%】	A	・主体的・対話的で深い学びを推進し、基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、生徒が自ら学ぶ力を身につけることができた。また、学びの基礎診断を活用し、教員同士の授業見学を通して、質の高い授業実践に向けた研修を進めることができた。
	理数科事業に積極的に取り組む生徒90%	高大等連携講座参加【87.8%】 科学の甲子園参加【82.9%】 科学系コンテスト参加【96.3%】、 1・2年理数科生徒全員がいずれかに参加	A	・生徒は、各行事を通してよりレベルの高い内容の経験をし、科学的な知識や思考を深め、さらに関心を高めることができた。
こころざしの育成と進路目標の実現	高大連携事業参加50名、オープンキャンパス参加率90%以上	2年生全員OC参加。 高大連携事業参加【75名】	A	・各大学ともオープンキャンパスがコロナ前の状態に戻り、生徒も積極的に参加している。
	ミニ大学を通して進路意識が向上した生徒90%	アンケートで「役に立った」と回答した生徒【90%】	A	・担当の業務は大変だが、半世紀以上続く重要な行事であり、意識向上に役立っている。

健やかでたくましい心身の育成	部活動や学校行事に積極的に取り組む生徒90%以上	「部活動に積極的に参加した」 生徒【85.6%】 「学校行事に積極的に参加した」生徒【93.7%】	A	・学校行事、部活動に積極的に参加する生徒が多くなった。 ・生徒会が中心となり新校舎での2回目の文化祭も盛大に行えた。生徒の成長を育むたにも学校行事を行える環境を確保していきたい。
	自主的に健康管理ができる生徒90%	「健康に関わる指導について適切に行われている」と回答した生徒【82.2%】	B	・生徒が自ら健康状態を把握し、自己管理することが自立した生活への一歩である。今後も生徒主体の保健・厚生委員会活動を運営し、全校に呼び掛けていく。
安全・安心で、信頼される学校づくりの推進	〈いじめ・ネットトラブル・交通事故等に関する内容について〉 安全・安心な学校生活を送っている生徒100%	交通安全に常に心がけている生徒【93.6%】 「学校は交通安全に関わる指導に積極的に取り組んでいる」 【生徒89.7%】 【保護者81.4%】	B	・交通事故11件（自損1件を含む）0件ではなかったが、月1回のかかるがも運動、挨拶運動などで交通安全の意識を高めることができた。幸いにも大きな事故はない。継続して交通安全の意識を高めしていきたい。
	〈カウンセリングの充実等に関する内容について〉 安全・安心な学校生活を送っている生徒100%	学校生活が安全・安心に送られている生徒【95.1%】	A	・6月に1年生への3分間カウンセリングを実施した。入学後の様子を早期に知ることができ良かった。 2学期初めに「心身の状態調査」を、全生徒に実施した。結果をもとに、30人の生徒に面談を実施した。
	安心で快適な学校生活を送ることができる環境整備	学校は施設の安全と点検が行われ、改善が図られていると回答した生徒【87.2%】	A	・法定点検結果の指摘事項の改善や施設設備の修繕など限られた予算の範囲内で優先順位をつけて環境整備を行った。
	12月の地域防災訓練に参加する生徒80%	12月の地域防災訓練に参加した生徒【30%】	D	・テスト期間最中ということで、参加率が伸びなかったが、各種防災訓練をとおして、防災意識が向上した生徒は【77.9%】であった。
	積極的に情報発信を行っているとする保護者80%	「積極的に情報発信を行っている」と回答した保護者【85.8%】	A	・学校のHPが新しくなり、作業に慣れていない部分もあるが、頻繁に更新がなされている。また、管理職が絆ネットを通じて、情報の告知に努めている。

ワークライフバランスを考えた働き方改革	定時退勤や時間外業務の縮減を意識する教職員 90%	「定時退勤や時間外業務の縮減を意識している」【65.5%】	C	時間外業務時間の多くは部活動指導である。 県が推奨する平日の完全退勤時刻 20 時を超える教員はほとんどいない。 業務のさらなるスリム化、効率化を目指し、働きやすい環境づくりを推進する。
---------------------	---------------------------	-------------------------------	---	---

イ 定時制

取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
基本的な生活習慣を身に付け社会性を育てる。	①出席率 90%以上 ②SST講座を年20回実施	①出席率 ・ 95.4% ②SST 講座 ・ 年20回実施	A	①本年度も全職員による指導で出席率は高い水準を保持しており、落ち着いて授業を受ける習慣ができた。 ②講師派遣による講座は2年生で10回実施し、1年生は教員が担当し10回実施した。
<b>基礎・基本の定着に向けた授業改善に取り組む。</b>	①日本語能力試験合格 80%以上 ②③「授業がわかる」と答える生徒80%以上	①日本語能力試験合格 ・ 77.4% ②③「授業者の参加意欲」、「授業に対する生徒の評価」 ・ 90%、88%	B	①参加人数が増加し、上級級へ挑戦する生徒が増えた。 ②③昨年度と比較すると評価ともに5%ほどの低下となったが、生徒の授業の参加意欲や授業に対する評価は、引き続き高いものであった。今後も生徒の取り組みが向上するように授業改善を行っていく。
職業観を育て、個々の生徒に応じた進路指導を推進する。	・進路ガイダンス3回以上実施	進路ガイダンス4回実施	A	・外部講師による進路ガイダンスを主に卒業学年生に対して実施し、進路意識の向上と個別の進路指導を深めることができた。 ・令和7年度の卒業予定者 25人のうち、4人が現在活動中である。
健やかでたくましい心身の育成を育む。	①部活動参加率 50%以上 ②スポーツデー、映画会の実施	①部活動参加率 43.5% ②スポーツデー、映画会の実施	B	①部活動に参加する生徒の割合は43.5%であるが、生徒は熱心に活動し、全国大会に3部活、東海大会に1部活が出場した。 ②スポーツデーは93.6%、映画会は94.4%の参加率であった。多くの生徒が、2つの行事に参加して交流を深めることができた。
学校施設の安全対策と教育相談体制の充実を図る。	①SC 面談を毎月2回実施 ②SSW によるアセスメントを1年生全員に実	①SC 面談 ・ 毎月2回実施 ②SSW によるアセスメント	A	①日本人 SC、外国人 SC による面談は37人に対して実施した。 ②SSW によるアセスメントを1

	施 ③各学期 1 回実施	・ 1 年生全員実施 ③各学期 1 回 ・ 学期 1 回実施		年生全員に実施した。 ③アンケートの実施は、生徒の実態を把握する上で効果的であった。教育相談体制は充実している。来年度も、それぞれの情報共有を図り、生徒理解につなげたい。
ワークライフバランスを意識した教職員の働き方の見直しを行う。	・ 夏季休業中の年休取得 5 日以上、年間 10 日以上	夏季休業中の年休取得 5 日以上、年間 10 日以上 ・ 10 日以上取得者 8 名 (10 人)	B	・ 年休取得は十分に行われた。取得日数が 10 日未満の職員も 10 日近く取得している。業務の効率化に関わる改善を引き続き進めていく。
開かれた学校づくりを推進する。	①定時制だより年 3 回発行 (評議員への送付) ②学校行事や部活動の結果の更新	①定時制だより年 3 回発行 ②学校行事や部活動の結果の更新 ・ 43 回更新	C	①定時制だよりは 3 回発行した。昨年度より発行回数が減ったが、生徒の言葉などを載せるなど内容を充実させることができた。②ホームページを活用し、部活動の大会結果、学校行事の様子について情報発信することができた。

(2) 令和 7 年度の取組目標・達成方法・成果目標

ア 全日制

取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標
徳のある人間性の育成	豊かな情操を身に着け、知見を深めることを目指し、読書を推進する。	図書館の年間の貸出数 5,000 冊以上 図書館の年間利用数 5,000 人以上
	基本的な生活習慣の確立を図る。	あいさつがしっかりでき、身だしなみが整っていると考える生徒 90% 以上
	自発的な意思に基づく他者や社会に貢献する行動力を身につけることを培う。	部活動や委員会活動等で、ボランティア活動や地域交流へ積極的に参加した生徒 70% 以上
確かな学力の育成	高度なデジタル・リテラシー習得を目指し、授業における ICT 機器活用を推進する。	ICT 機器を活用し、させる授業を実践する教員 100% ICT を活用した授業を行っていると感じる生徒 80% 以上
	授業改善、教科指導力向上により、学力を一層向上させるとともに、学びの基礎診断活用により、指導の在り方を検証・改善する。	基礎基本を大切にし、授業に主体的に取り組む生徒 90% 以上、測定ツールを活用し、授業改善に取り組む教員 90% 以上
	理数科生徒のサイエンス事業への積極的取組を推進する。	理数科事業に積極的に取り組む生徒 95% 以上
こころざしの育成と進路目標の実現	高大連携事業等、オープンキャンパスへの参加を促す。	高大連携事業参加 50 名、オープンキャンパス参加率 95% 以上
	2 年生が実施するミニ大学に、大学講師を積極的に招へいし、進路意識を向上させる。	ミニ大学を通して進路意識が向上した生徒 90% 以上

健やかでたくましい心身の育成	生徒を主体として学校行事及び部活動を運営する。	部活動や学校行事に積極的に取り組む生徒90%以上
	国際感覚の涵養を目指し、姉妹校であるマウンテンビュー高校との交流を積極的に推進する。	交流を通して互いの文化の良さをシェアする生徒80%以上
	健康教育講座、保健だより等をとおして、健康について理解を深める。	自主的に健康管理ができる生徒90%以上 学校が健康に関わる指導・助言を発信していると思う生徒85%以上
安全・安心で快適な学校環境の醸成	生徒理解に努め、いじめ、ネットトラブル、交通事故を未然に予防する。	安全・安心な学校生活を送っていると感じる生徒100%
	S C、S S Wとの緊密な連携により、安全・安心な生活環境を整える。	安全・安心な学校生活を送っていると感じる生徒100%
	施設の安全点検を定期的実施し、学校施設の安全性を確保する。	快適な学校生活を送ることができる環境整備
	校内や地域防災訓練に積極的に参加させ、防災意識を向上させる。	各種防災訓練等を通して防災意識が向上した生徒80%以上
信頼される学校づくり	Cラーニング等を活用した生徒・保護者への情報発信や情報交換を推進する。	学校は家庭との連絡をよくとっていると感じる保護者80%以上
	学校に関する情報をホームページや学校通信を通して発信する。	積極的に情報発信を行っているとする保護者85%以上
	教職員の働き方改革に係る業務の整理と定時退勤日の奨励。	定時退勤や時間外業務の縮減を意識する教職員90%以上

#### イ 定時制

取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
基本的な生活習慣を身に付け社会性を育てる。	①初期指導の徹底と継続的な指導 ②S S T講座の実施	①出席率 95%以上 ②S S T講座を年20回実施
<b>基礎・基本の定着に向けた授業改善に取り組む。</b>	①0時間目（日本語学習支援）の実施 ②0時間目（学習支援）の実施 ③授業アンケートの活用	①②日本語能力試験合格 80%以上 ②③「授業がわかる」と答える生徒が 90%以上
職業観を育て、個々の生徒に応じた進路指導を推進する。	進路ガイダンスの実施	・進路ガイダンス 4回以上実施
健やかでたくましい心身の育成を育む。	①部活動見学の実施、意欲的に活動できる環境づくり ②行事等を通じた他学年との交流	①部活動参加率 50%以上 ②スポーツデー、映画会の出席率90%以上
学校施設の安全対策と教育相談体制の充実を図る。	①S Cの面談の実施 ②S S Wの活用 ③学校生活アンケートの実施	①S C面談を毎月 2回実施 ②S S Wによるアセスメントを1年生全員に実施 ③各学期 1回実施
ワークライフバランスを意識した教職員の働き方の見直しを行う。	長期休業中の休暇取得促進	・夏季休業中の年休取得 5日以上、年間 10日以上

開かれた学校づくりを推進する。	①定時制だよりの発行 ②ホームページの更新	①定時制だより年3回発行（学校運営協議会委員への送付） ②学校行事や部活動の結果等の掲載50回以上
-----------------	--------------------------	--

#### 4 監査対象期間における特色ある取組

##### (1) 全日制

年 度	取組概要	成果及び課題
令和6年度	カセット方式（33単位分の授業を週5日間で行う方法）の運用	55分授業を11週で10回実施するカセット方式を導入し、運用している。3年目となり、生徒も教員も慣れてきており、放課後の時間が一定に確保される中、委員会や部活動が計画的に行われた。
	理数科の科学オリンピック等への積極的な参加	理数科生徒が、地学オリンピックで世界大会に招待された。科学の甲子園では、県大会には出場できなかったが理数科1・2年生のほとんどが参加した。
	新校舎の有効活用	図書館での本の貸出数は伸びなかった。紙書籍離れが進んでいる。自習で使用する生徒は増加する傾向にあった。 新校舎の使用方法については適宜定時制職員も含め連絡調整し、常に有効な方法を模索した。
	I C T機器の効果的な活用	授業改善に取り組み、I C T機器活用について教職員が共に学び合う機会を創出した。 不登校生徒や病気療養中の生徒に対する遠隔授業では、本人・保護者と十分な話し合いをし、効果的に機器を使用しながら実施した。
	確かな学力の育成	3年生において効果的に課外補講を組み、共通テストおよび個別試験に対応する学力を養成。
	国際交流事業の推進	令和7年4月に25名のマウンテンビュー高校の生徒が来日し、本校生徒と交流した。
	校務D Xを通じた働き方改革	自動採点システムを活用し、採点にかかる時間を大幅に短縮した。また校務支援系アプリの導入を検討した。 職員会議等でペーパーレス化を進めた。

年 度	取組概要	成果及び課題
令和7年度	教師のI C T活用指導力の向上 生徒の情報活用能力の育成	I C T機器を授業等で有効に活用して効果的な授業を展開していく。 生徒の端末使用について、生徒会活動等、授業外での活用をとおして主体的に取り組む態度を涵養している。文化祭では各展示等のCMに質の高い動画を作成したり、投票にクラウドコンテンツを利用したり、I C Tを活用する。
	高大連携事業	理数科生徒が、サイエンス事業に積極的に取り組めるよう、浜松医科大学や静岡大学、静岡理工科大学の講義や実験授業に積極的に参加に加え、一部普通科の生徒も参加を促す。 理数探究の実験や分析も、高校のレベルを超えるものは大学に協力を要請し進めていく。

	国際交流事業の推進	今年度末には 25 名程度の生徒が渡米するため、その準備を進める。
	安全・安心で信頼される学校づくりの推進	保健課教育相談室による 1 年生全員を対象とした 3 分間カウンセリングを実施。生徒理解に努めるとともに、支援の情報を得るよう推進する。
	新校舎の有効活用	2 階のテラスでは、学校行事等で様々なパフォーマンスを披露し、生徒同士の交流を深める。
	働き方改革	会議におけるペーパーレスを推進している。また、校務支援アプリを導入し、出欠管理などの業務縮小を図る。

(2) 定時制

年 度	取組概要	成果及び課題
令和 6 年度	基本的な生活習慣を身に付け社会性を育てる。	初期指導の徹底と継続的な指導を実施し、出席率を90%以上とする。
		S S T 講座を年 20 回実施し、社会性の醸成を図る。
	学校施設の安全対策と教育相談体制の充実	S C 面談（月 2 回）と S S W（スクールソーシャルワーカー）面談（週 1 回）を実施し、教職員との情報共有を図り、教育相談体制を充実させる。
		学校生活アンケートを各学期 1 回実施し、生徒の実態を把握する。

年 度	取組概要	成果及び課題
令和 7 年度	基本的な生活習慣を身に付け社会性を育てる。	初期指導の徹底と継続的な指導を実施し、出席率を95%以上とする。
		S S T 講座を年 20 回実施し、社会性の醸成を図る。
	学校施設の安全対策と教育相談体制の充実	S C 面談（月 2 回）と S S W（スクールソーシャルワーカー）面談（週 1 回）を実施し、教職員との情報共有を図り、教育相談体制を充実させる。
		学校生活アンケートを各学期 1 回実施し、生徒の実態を把握する。

5 教職員について

(1) 令和7年度異動状況

【全日制】

補職名 区分	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	小計	事務長	主幹(事)	主査(事)	主任(事)	主事	小計	実習助手(臨)	教諭(臨)	外国語指導講師	会計年度任用職員	小計	計
転出者			1	5		1	7	1			1		2					0	9
退職者				3			3				1		1	1			13	14	18
転入者			1	5		1	7	1	1				2					0	9
新任者				1			1			1			1	1		1	15	17	19
役職定年							0						0					0	0
差引増減	0	0	0	△2	0	0	△2	0	1	1	△2	0	0	0	0	1	2	3	1

【定時制】

補職名 区分	校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	小計	事務長	主査(事)	主任(事)	主事	小計	教諭(臨)	会計年度任用職員	小計	計
転出者		1				1				1	1			0	2
退職者			2			2					0		7	7	9
転入者		1	1			2				1	1			0	3
新任者			2			2					0	1	5	6	8
役職定年						0					0			0	0
差引増減	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	△2	△1	0

## (2) 現員数

(令和7年6月30日現在)

補職名 区分	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	小計	事務長	主幹(事)	主査(事)	主任	主事	小計	教諭(臨)	実習助手(臨)	外国語指導講師	会計年度任用職員	小計	計
	全日制	男	1	1	1	42		45	1	1	1	1		4		1		10	11
	女				9	1	11			1			1			1	5	6	18
	計	1	1	1	51	1	56	1	1	2	1	0	5	0	1	1	15	17	78
定時制	男			1	7		8					1	1	1			2	3	12
	女				2	1	3						0				3	3	6
	計	0	0	1	9	1	11	0	0	0	0	1	1	1	0	0	5	6	18
合計	男	1	1	2	49		53	1	1	1	1	1	5	1	1		12	14	72
	女				11	2	14			1			1			1	8	9	24
	計	1	1	2	60	2	67	1	1	2	1	1	6	1	1	1	20	23	96

## (3) 健康管理について

ア 健康管理については、定期健康診断を実施した。精密検査・再検査の指示があった場合は、必ず受診するよう職員衛生委員会等で職員に促した。

イ 職員衛生委員会を開催し、健康管理医の助言を得ながら各種情報を職員に周知した。職員安全衛生委員会だよりを発行し情報提供した。

ウ 部活指導、校務分掌処理のため遅くまで残ることが多い職員に声を掛け、健康管理に留意した。

エ 時間外勤務が80時間以上の長時間勤務者で、面接を希望しない者にも随時、管理職と養護教諭が声を掛け、健康管理、勤務時間の意識付けをした。

オ 令和6年度健康診断実施状況

項目	対象者	対象者数	受診者数	摘要
生活習慣病検診 結核検診	全職員 (指定年齢検診、人間ドック受診者を除く)	23	23	
指定年齢検診	40、45、50、55、59歳	13	13	
人間ドック	35、38、42～58歳のうち希望者 (指定年齢検診を除く)	38	38	

健康診断結果等は、別紙「健康管理」(□□□□□□)のとおりである。

(4) 教職員の研修について

ア 全日制

(ア) 令和6年度

研修の目的	研修内容	成果及び課題
効果的なICT活用による授業改善	<p>(1) 総合教育センターの指導主事の定期訪問研修として、国語及び英語に係る研究授業及び研究協議を実施した。</p> <p>(2) ICT活用に関して、事前に生徒にアンケートをとり、それを参考にしながら、具体的なコンテンツの活用方法について研修した。</p> <p>年2回の公開授業を実施した。</p>	<p>(1) 「問い」に対する疑問、「教えないこと」に対するチャレンジ、グループ学習の成果など、各教科の先生たちは真剣に議論し、理解は深まった。</p> <p>(2) ICTの活用には自信を持っている教員ばかりではないが、今回は同僚からの活用報告もあり、活用に対するハードルが下がった印象を受けた。また、ICTの活用は教員がすべてを教えることではなく、生徒が学習を自分自身で実践するきっかけになることが、指導主事の説明から分かった。</p> <p>学校全体で授業力向上を目指し取り組むことができた。</p>
「主体的・対話的で深い学び」を支える授業研究	地理の授業における、生徒の学びの変遷について考察した。	職員全員が生徒を観察した。グループ学習によって課題解決に向けての構想力が身についたかどうか議論した。
総合型選抜等に対応した、小論文指導についてのスキルアップ	講師を招聘し、最新の小論文指導について学んだ。	進学指導に必要なスキルが向上した。
不祥事根絶研修として、人権意識の向上と生徒指導の在り方を確認する。	生徒指導に係る共通ルール、不適切な言動、スクールセクハラ、職員同士のハラスメント等のセルフチェックシートを実施。また人権教育のオンデマンド研修を実施した。	全職員が研修を実施し、コンプライアンス意識が向上した。
教職員のメンタル・ヘルスについて、ワークライフバランスを考えた働き方改革を推進する。	2年目の職員に出張カウンセリングを活用した。部活動指導後でも20時には完全退勤することを推奨した。	上司や同僚だけでなく、外部でも相談可能であることがわかった。退勤時間は概ね守られている。

## (イ) 令和7年度

研修の目的	研修内容
学習評価に基づいた授業改善	(1) 総合教育センターの指導主事の定期訪問で、情報、家庭の研究授業と研究協議を実施する。 (2) 生徒側からの評価（生徒自身の評価を含める）を授業改善に活用しているか、またその方法について、若手の教員がファシリテーターとなってグループディスカッションを行う。教科もバラバラでグループを組むことによって、日頃話を聞けない他教科の先生から、生徒の声を拾い上げる方法や授業づくりの方法が聞けるなどの工夫を行う。
各年次研修を利用し、全日制、定時制でのチーム研修から、若手教職員の指導力向上を図る。	各教職員が日頃から感じていることを意見交換し、課題を共有する。
ライフプラン	教員の生涯生活設計をテーマに研修を行う。
不祥事根絶研修として生徒指導の在り方、ストレスへの対処等について理解を深める。	職員会議ごとに不祥事根絶研修を行う。事例研究からグループワークを行うことで、大きな不祥事に至る原因を知る。また、初動対応マニュアルを学ぶことで、不祥事のきっかけを考察し、生徒への対処方法を学ぶ。
生徒の一人ひとりの教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難を改善するために必要な支援を行う。	「配慮を必要とする生徒の情報」を毎月の職員会議で共有し、「スクールカウンセラー」の活用を促すほか、1学期に1年生を対象とした「3分間カウンセリング」を実施する。

## イ 定時制

## (ア) 令和6年度

研修の目的	研修内容	成果及び課題
本年度から定時制においても一人一台端末の導入が求められる中で、外国籍生徒や支援を必要とする生徒に対して、ICTを活用した効果的な授業や支援方法などについて学ぶことを目的とする。	磐田市多文化推進委員会の副会長であり、外国にルーツをもち袋井市の教育委員会に従事している方を講師として招き、外国籍生徒や支援を必要とする生徒に対して、義務教育で実際行っている実践例や支援方法などを研修する。	他校種の実践例、外国の教育環境、外国籍や障害等がある生徒を対象としたツール等について学ぶことで、生徒支援に活かすことができた教科があった点が成果であった。一方で、活用できているのが一部教科であるため、実践例やツールについての情報収集及び共有を継続して行うことが課題である。

## (イ) 令和7年度

研修の目的	研修内容
様々な背景をもつ生徒に対して、「成長を促す指導」等の「積極的な生徒指導」について理解を深めることを目的とする。	(1) S S Wを講師に迎えてのケース検討会を通して、様々な困難を抱える生徒への対応の仕方や情報共有の必要性について理解する。 (2) 総合教育センター指導主事による定期訪問において、発達支持的生徒指導について理解を深める。

## 6 防災対策について

### (1) 全日制

ア 令和6年度

#### (ア) 目標

- a 新校舎での避難経路の確認を兼ねた効果的な訓練を実施する。
- b 生徒の防災意識の向上を図る。
- c 各支部の人数の不均衡解消及び支部別集合の有効性について、引き続き検討する。

#### (イ) 実施計画

実施日	訓練内容	対象
4月10日（水）	支部（居住地区）別会議	生徒職員全員
5月8日（水）	地震発生を想定した避難訓練	生徒職員全員
10月9日（水）	学年別防災教育 1 学年：煙体験訓練 2 学年：消火訓練 3 学年：起震車体験	生徒職員全員
12月1日（日）	県下一斉地域防災訓練（期間設定あり）	生徒職員全員

#### (ウ) 課題

- a 新校舎建設関連工事終了後の実態に即した危機管理マニュアル等の継続的な見直し。
- b 効果的な訓練計画の策定と生徒の防災意識の向上
- c 支部別集合の有効性についての検討

イ 令和7年度

#### (ア) 目標

- a 危機管理マニュアル等の継続的な見直し
- b 効果的な訓練計画の策定と生徒の防災意識の向上
- c 支部別集合の有効性についての検討

#### (イ) 実施計画（予定）

実施日	訓練内容	対象
4月10日（木）	支部（居住地区）別会議	生徒職員全員
5月7日（水）	地震発生を想定した避難訓練	生徒職員全員
10月8日（水）	学年別防災教育 1 学年：煙体験訓練 2 学年：消火訓練 3 学年：起震車体験	生徒職員全員
12月7日（日）	県下一斉地域防災訓練（期間設定あり）	生徒職員全員

(2) 定時制

ア 令和6年度

(ア) 目標

- a 職員、生徒の防災意識及び知識の向上を図る。
- b 危機回避能力を育成する。

(イ) 実施状況及び成果

実施日	訓練内容及び成果	対象
9月5日(木)	地震発生を想定した避難訓練、起震車体験	生徒職員全員
12月2日(月)	授業中の火災発生を想定した避難訓練	生徒職員全員
9月～12月	防災倉庫の点検、校内の施設点検を行った。	職員、1年生

(ウ) 課題

- a 9月5日実施の防災訓練  
避難経路や避難場所について確認の徹底が必要である。
- b 12月2日実施の防災訓練  
消火訓練の時期について検討する必要がある。
- c 9月～12月総合的な学習の時間における防災教育等  
引き続き、校内施設等の定期的な点検及び確認を実施する。

イ 令和7年度

(ア) 目標

- a 職員、生徒の防災意識及び知識の向上を図る。
- b 危機回避能力を育成する。

(イ) 実施計画(予定)

実施日	訓練内容	対象
9月3日(水)	授業中の火災発生を想定した避難訓練	生徒職員全員
12月1日(月)	地震発生を想定した避難訓練、起震車体験	生徒職員全員
9月～12月	防災倉庫の点検、校内の施設点検を行う。	職員、1年生

7 学校開放について

施設開放委員会を中心として、地域に密着した施設の開放に努めている。

(1) 開放施設の範囲

開放施設	利用でできる種目
体育館	バレーボール、バスケットボールその他施設開放委員会が適当と認めるもの
武道場	柔道、剣道その他施設開放委員会が適当と認めるもの
プール	水泳、水球その他施設開放委員会が適当と認めるもの
グラウンド	陸上、サッカー、野球その他施設開放委員会が適当と認めるもの
普通教室、特別教室、生活館	本校生徒の学力向上のための講座その他施設開放委員会が適当と認めるもの

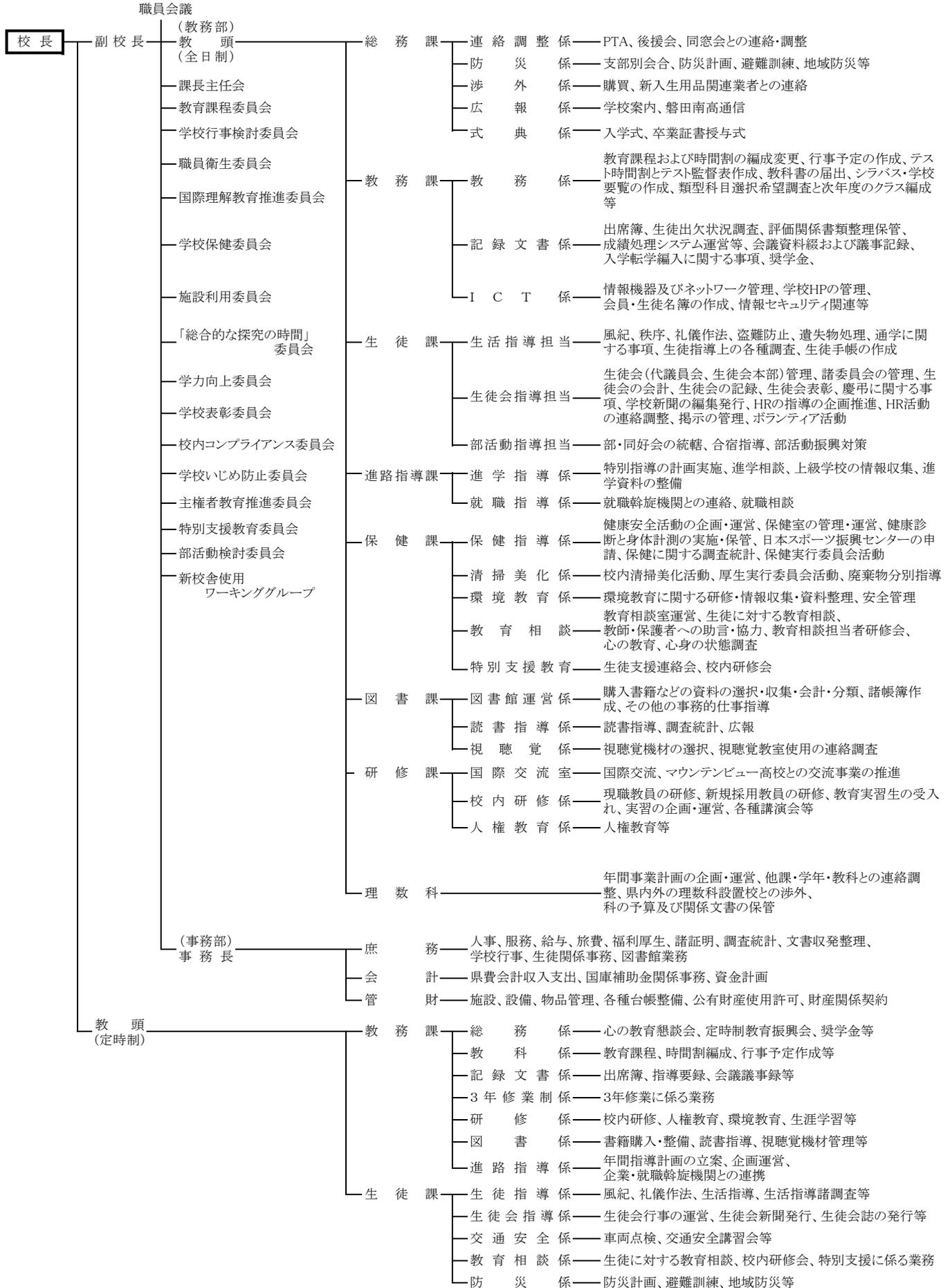
(2) 利用実績

施設名	利用種目	令和6年度		令和7年度 6月30日現在		備考 (利用者負担電気料)	
		利用 日数	利用 者数	利用 日数	利用 者数	6年度	7年度
体育館	バスケット、バレー	26日	308人	15日	205人	16,678円	7,429円
武道場	—	日	人	日	人	—	—
プール	訓練	31日	273人	15日	97人	—	—
	水球	50日	734人	30日	618人	—	—
	アーティストックススイミング	15日	134人	日	人	—	—
グラウンド	—	日	人	日	人	—	—
普通教室他	模擬試験、補習	26日	11,293人	4日	2,053人	225,029円	0円

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関する こと。	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、第52条、第60条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第11条） 理科教育振興法施行令
2 学校の管理・運営 に関すること。	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条、第47条の5） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 静岡県公立高等学校等高校生等臨時支援金事務処理要綱 静岡県手数料徴収条例 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 高等学校遠距離通学費補助金交付要綱 高等学校定時制の課程及び通信制の課程修学補助金交付要綱 静岡県情報公開条例 静岡県個人情報保護条例 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） 社会教育法（第43条、第45条、第47条、第48条） 夜間課程を置く高等学校における学校給食に関する法律（第3条） 高等学校定時制課程夜食費負担金取扱要綱 いじめ防止対策推進法

(2) 学校運営組織



□□□□□□□□

# 学 校 施 設 の 概 要

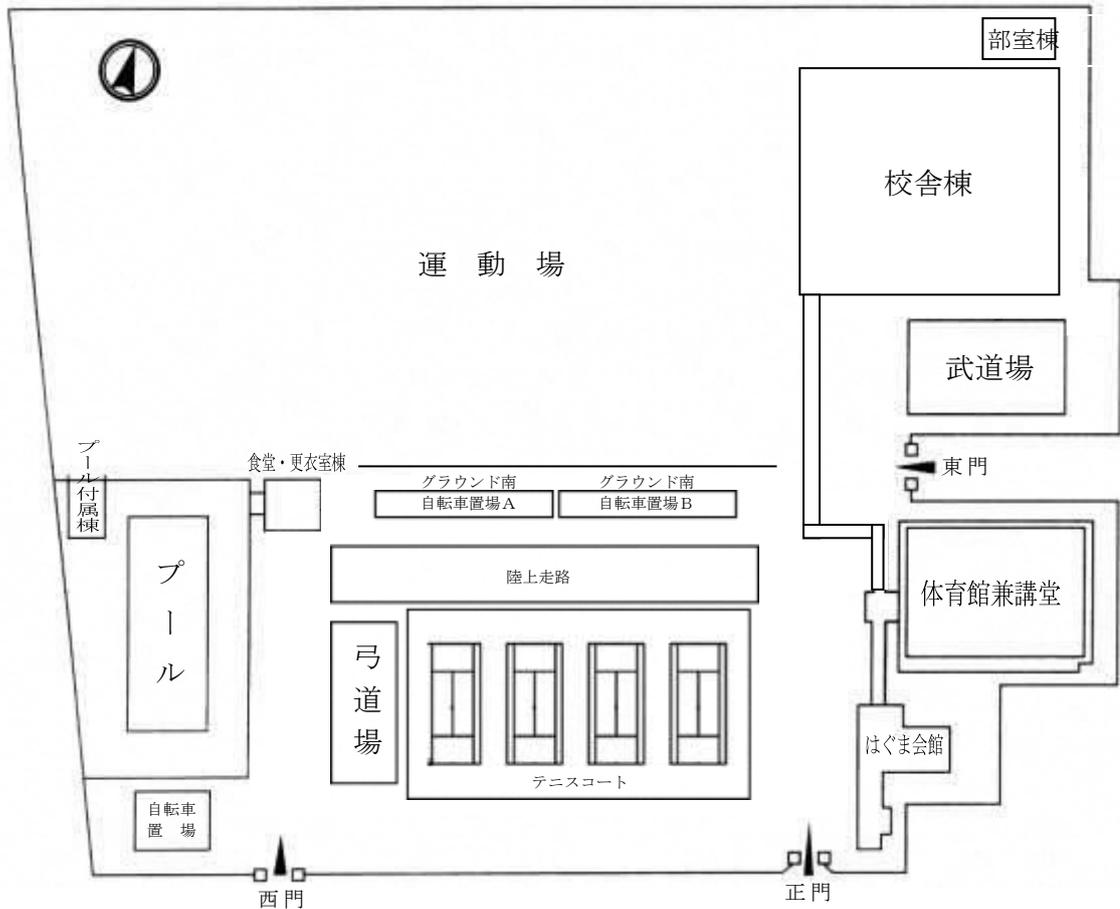
## 1 面積及び所有区分

(令和7年6月30日現在)

区 分	面積 m <sup>2</sup>	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m <sup>2</sup>	国 有 m <sup>2</sup>	市 町 有 m <sup>2</sup>	後援会有 m <sup>2</sup>	民 有 m <sup>2</sup>	
学 校 敷 地	48,256.56	47,927.05		329.51			
内 訳	校 舎 敷 地	32,731.27	32,401.76		329.51		
	運 動 場 敷 地	15,525.29	15,525.29				
	そ の 他 敷 地						
校 舎	建 3,760.45	3,760.45					
	延 9,660.95	9,660.95					
体 育 館	建 1,320.22	1,320.22					
	延 1,498.22	1,498.22					
武 道 場	建 639.00	639.00					
	延 1,258.93	1,258.93					
そ の 他 の 建 物	建 959.90	959.90					
	延 1,329.73	1,329.73					
生 活 館	建 428.21				428.21		
	延 754.32				754.32		
プ ー ル	1 個	1 個					50m×22m

## 2 配置・規模等

### (1) 校舎等の配置図



### (2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区 分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当 校	47,927.05 m <sup>2</sup>	9,660.95 m <sup>2</sup>	15,525.29 m <sup>2</sup>
県平均	45,574.48 m <sup>2</sup>	9,782.41 m <sup>2</sup>	22,506.84 m <sup>2</sup>

# 在 籍 生 徒 調

(全日制)

(令和7年6月30日現在)

学年	学科別 区分		普通科				理数科				計			
			定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計
1年	入学者		280	163	129	292	40	34	8	42	320	197	137	334
		増加												
		減少		1		1						1		1
	現 在			162	129	291		34	8	42		196	137	333
2年	入学者		280	148	139	287	40	27	15	42	320	175	154	329
		増加			(1)	(1)							(1)	(1)
		減少				2	2						2	2
	2年時当初			148	138	286		27	15	42		175	153	328
		増加												
		減少												
	現 在			148	138	286		27	15	42		175	153	328
3年	入学者		280	149	138	287	40	23	18	41	320	172	156	328
		増加		(2)	(1)	(3)						(2)	(1)	(3)
		減少		1	(1) 4	(1) 5						1	(1) 4	(1) 5
	2年時当初			150	134	284		23	18	41		173	152	325
		増加		(1) 1		(1) 1						(1) 1		(1) 1
		減少							1	1			1	1
	3年時当初			152	134	286		23	17	40		175	151	326
		増加												
		減少												
現 在			152	134	286		23	17	40		175	151	326	
合 計			840	462	401	863	120	84	40	124	960	546	441	987

# 在 籍 生 徒 調

(定時制)

(令和7年6月30日現在)

学年	学科別 区分		普 通 科			
			定員	男子	女子	計
1年	入 学 者		40	25	15	40
		増 加				
		減 少				
	現 在			25	15	40
2年	入 学 者		40	22	18	40
		増 加				
		減 少		2		2
	2年時当初			20	18	38
		増 加				
		減 少				
現 在			20	18	38	
3年	入 学 者		40	21	18	39
		増 加				
		減 少		1	1	2
	2年時当初			20	17	37
		増 加				
		減 少			1	1
	3年時当初			20	16	36
		増 加				
減 少						
現 在			20	16	36	
4年	入 学 者		40	19	14	33
		増 加				
		減 少		3	1	4
	2年時当初			16	13	29
		増 加		(1)	(1)	(2)
		減 少		1		1
	3年時当初			16	14	30
		増 加				
		減 少				
	3 修 卒			1	5	6
	4年時当初			15	9	24
		増 加				
減 少						
現 在			15	9	24	
合 計			160	80	58	138

## 入学志願者及び入学者数調

(全日制)

区 分		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
		普通科	理数科	計												
生徒定員	(A)	240	40	280	280	40	320	280	40	320	280	40	320	280	40	320
募集者数	(B)	240	40	280	280	40	320	280	40	320	280	40	320	280	40	320
志願者数	男	123	37	160	146	48	194	153	39	192	125	59	184	149	61	210
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	女	134	19	153	144	24	168	151	30	181	133	28	161	144	17	161
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
計(C)	257	56	313	290	72	362	304	69	373	258	87	345	293	78	371	
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
受検者数	男	122	37	159	145	47	192	151	39	190	124	59	183	149	61	210
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	女	134	19	153	144	24	168	151	30	181	133	28	161	144	17	161
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
計(D)	256	56	312	289	71	360	302	69	371	257	87	344	293	78	371	
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
合格者数	男	116	29	145	143	28	171	149	23	172	148	27	175	163	34	197
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	女	130	12	142	144	13	157	138	18	156	139	15	154	129	8	137
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
計(E)	246	41	287	287	41	328	287	41	328	287	42	329	292	42	334	
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
志願倍率(C)／(B)		1.07	1.40	1.12	1.04	1.80	1.13	1.09	1.73	1.17	0.92	2.18	1.08	1.05	1.95	1.16
受検倍率(D)／(B)		1.07	1.40	1.11	1.03	1.78	1.13	1.08	1.73	1.16	0.92	2.18	1.08	1.05	1.95	1.16
入学者数	男	116	29	145	143	28	171	149	23	172	148	27	175	163	34	197
	女	130	12	142	144	13	157	138	18	156	139	15	154	129	8	137
	計(F)	246	41	287	287	41	328	287	41	328	287	42	329	292	42	334
充足率(F)／(A)		1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.05	1.03	1.04	1.05	1.04

## 入学志願者及び入学者数調

(定時制)

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学 科 別		普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
生徒定員 (A)		40	40	40	40	40
募集者数 (B)		40	40	40	40	40
志願者数	男	28 (0)	23 (0)	30 (0)	26 (0)	29 (0)
	女	28 (0)	17 (0)	24 (0)	24 (0)	17 (0)
	計 (C)	56 (0)	40 (0)	54 (0)	50 (0)	46 (0)
受検者数	男	28 (0)	23 (0)	30 (0)	26 (0)	29 (0)
	女	27 (0)	17 (0)	24 (0)	24 (0)	17 (0)
	計 (D)	55 (0)	40 (0)	54 (0)	50 (0)	46 (0)
合格者数	男	19 (0)	19 (0)	21 (0)	22 (0)	25 (0)
	女	22 (0)	14 (0)	19 (0)	18 (0)	15 (0)
	計 (E)	41 (0)	33 (0)	40 (0)	40 (0)	40 (0)
志願倍率(C)／(B)		1.40	1.00	1.35	1.25	1.15
受検倍率(D)／(B)		1.38	1.00	1.35	1.25	1.15
入学者数	男	19	19	21	22	25
	女	22	14	18	18	15
	計 (F)	41	33	39	40	40
充足率(F)／(A)		1.03	0.83	0.98	1.00	1.00

□□□□□□

## 卒 業 生 の 動 向 調

### 1 進 路 状 況

学 科 別		全 日 制 普 通 科			全 日 制 理 数 科			全 日 制 計			定 時 制 普 通 科		
		4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度
年 度		285	237	278	40	41	41	325	278	319	27	42	25
卒 業 生 徒 数		(285)	(231)	(278)	(39)	(34)	(41)	(324)	(265)	(319)	(4)	(7)	(6)
内 進 学 者	(進学志願者)	234	217	244	30	32	27	264	249	271	1	2	2
	大学・短大	25	14	22	5	2	9	30	16	31	3	5	4
	専修・各種学校等	259	231	266	35	34	36	294	265	302	4	7	6
訳 就 職 者	小 計										19	32	17
	自 営 者												
	進 学 準 備 者	26	6	12	4	7	5	30	13	17	2		
	そ の 他				1			1			2	3	2
	合 計	285	237	278	40	41	41	325	278	319	27	42	25

### 2 求 人 状 況 (全 日 制 の み)

区 分	令 和 4 年 度	令 和 5 年 度	令 和 6 年 度
就 職 希 望 者 数	1	0	0
求 人 数	0	0	0
求 人 倍 率	—	—	—

### 3 資 格 取 得 状 況

(令 和 6 年 度)

学 科 別	徒 数	全 日 制			定 時 制
		普 通 科	理 数 科	計	普 通 科
卒 業 生 徒 数		278	41	319	25
実 用 英 語 技 能 検 定	準 1 級	15	2	17	
	2 級	59	6	65	
日 本 漢 字 能 力 検 定	準 2 級				1
	3 級				4
情 報 処 理 技 能 検 定	2 級				3
	準 2 級				2
	3 級				15
文 書 デ ザ イン 検 定	2 級				1
	3 級				
日 本 語 ワ ー プ ロ 検 定	2 級				1
	準 2 級				1
	3 級				6
日 本 語 能 力 試 験	N2				2
合 計		74	8	82	36

□□□□□□

# 生徒の状況

## 1 生徒の出身地域及び通学方法

### (1) 出身地

(全日制) (令和7年6月30日現在) (単位:人)

市町名	磐田市	袋井市	森町	浜松市	県内その他	県外	合計
生徒数	525	178	21	167	94	2	987
構成比%	53.2	18.1	2.1	16.9	9.5	0.2	100%

(定時制) (令和7年6月30日現在) (単位:人)

市町名	磐田市	袋井市	掛川市	浜松市	菊川市	県内その他	県外	合計
生徒数	99	23	7	5	1	1	2	138
構成比%	71.7	16.7	5.1	3.6	0.7	0.7	1.5	100%

### (2) 通学方法

(全日制) (令和7年6月30日現在) (単位:人)

区分	自転車	徒歩	バス	電車	その他	合計
生徒数	461	95	67	355	9	987
構成比%	46.7	9.6	6.8	36.0	0.9	100%

(定時制) (令和7年6月30日現在) (単位:人)

区分	自転車	徒歩	バス	電車	二輪車	自家用車	その他	合計
生徒数	66	13	5	30	6	0	18	138
構成比%	47.8	9.4	3.6	21.7	4.4	0.0	13.1	100%

### (3) 生徒の年齢

(定時制) (令和7年4月1日現在) (単位:人)

区分	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳超	計
1年	33	5	2									40
2年		37	1									38
3年			33		2		1					36
4年				22	2							24
計	33	42	36	22	4		1					138

## (4) 生徒の就業状況

(定時制)

(令和7年6月30日現在) (単位:人)

区分	建設	製造	卸小売	サービス業	各種学校	その他	無職	計
1年		1	12	2		1	24	40
2年		1	21	4		1	11	38
3年	1	1	28			2	4	36
4年		4	11	1		1	7	24
計	1	7	72	7		5	46	138

## 2 部(クラブ)の加入状況

(全日制)

(令和7年6月30日現在)

(単位:人)

区分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		14	12		26
男子	1年	124	72	0	196
	2年	116	55	4	175
	3年	103	53	19	175
	計(A)	343	180	23	546
	構成比	62.8%	33.0%	4.2%	100%
女子	1年	57	80	0	137
	2年	59	86	8	153
	3年	47	96	8	151
	計(B)	163	262	16	441
	構成比	37.0%	59.4%	3.6%	100%
合計	(A+B)	506	442	39	987
	構成比	51.3%	44.8%	3.9%	100%

(定時制)

(令和7年6月30日現在)

(単位:人)

区分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		6	2		8
男子	1年	13	0	12	25
	2年	8	1	11	20
	3年	6	2	12	20
	4年	6	0	9	15
	計(A)	33	3	44	80
	構成比	41.2%	3.8%	55.0%	100%
女子	1年	5	0	10	15
	2年	0	4	14	18
	3年	4	3	9	16
	4年	0	0	9	9
	計(B)	9	7	42	58
	構成比	15.5%	12.1%	72.4%	100%
合計	(A+B)	42	10	86	138
	構成比	30.4%	7.3%	62.3%	100%

□□□□□□

## 歳 入 予 算

## 一般会計

区 分	調 定 額 A 円	収 入 済 額	
		納 期 内 B 円	納 期 後 C 円
款 08使用料及び手数料	122,075,300	121,463,300	612,000
項 01使用料	119,825,900	119,213,900	612,000
目 09教育使用料	119,825,900	119,213,900	612,000
02全日制高等学校授業料	115,740,900	115,137,000	603,900
03定時制高等学校授業料	4,047,300	4,039,200	8,100
08庁舎等使用料	37,700	37,700	0
項 02手数料	2,249,400	2,249,400	0
目 07教育手数料	2,249,400	2,249,400	0
01高等学校入学料	1,948,500	1,948,500	0
02証明書発行手数料	156,600	156,600	0
04高等学校全日制入学検 定料	138,600	138,600	0
05高等学校定時制入学検 定料	5,700	5,700	0
款 10財産収入	641,000	641,000	0
項 01財産運用収入	641,000	641,000	0
目 01財産貸付収入	641,000	641,000	0
02土地貸付料	641,000	641,000	0
款 14諸収入	1,565,342	1,555,241	10,101
項 07雑入	1,565,342	1,555,241	10,101
目 02雑入	1,565,342	1,555,241	10,101
87保険料負担金	929,358	929,358	0
90雑収	635,984	625,883	10,101
雑収	610,519	600,418	10,101
古新聞・雑誌	25,465	25,465	0
計	124,281,642	123,659,541	622,101



□□□□□□

## 歳 入 予 算

## 一般会計

区 分	調 定 額 A 円	収 入 済 額	
		納 期 内 B 円	納 期 後 C 円
款 08使用料及び手数料	2,046,470	2,046,470	0
項 01使用料	59,770	59,770	0
目 10教育使用料	59,770	59,770	0
02全日制高等学校授業料	19,800	19,800	0
03定時制高等学校授業料	2,700	2,700	0
08庁舎等使用料	37,270	37,270	0
項 02手数料	1,986,700	1,986,700	0
目 09教育手数料	1,986,700	1,986,700	0
01高等学校入学料	1,971,100	1,971,100	0
02証明書発行手数料	15,600	15,600	0
款 10財産収入	641,000	641,000	0
項 01財産運用収入	641,000	641,000	0
目 01財産貸付収入	641,000	641,000	0
02土地貸付料	641,000	641,000	0
款 14諸収入	321,757	303,701	2,162
項 07雑入	321,757	303,701	2,162
目 02雑入	321,757	303,701	2,162
90保険料負担金	219,078	219,078	0
93雑収	102,679	84,623	2,162
雑収	93,307	75,251	2,162
古新聞・雑誌	9,372	9,372	0
計	3,009,227	2,991,171	2,162



□□□□□□

## 県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分		6年度	7年6月30日現在
		件 数	件 数
静岡県立高等学校 入学検定料	全日制	309件	0件
	定時制	40件	0件

余 白

# 授 業 料 収

(全日制)

期別	月別	調 定 の 状 況							
		1 年		2 年		3 年		計	
		人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額
一 期	4	人	円	人	円	人	円	人	円
	5								
	6								
	7	130	3,861,000	139	4,128,300	126	3,742,200	395	11,731,500
	8			▲1	▲29,700			▲1	▲29,700
	計	130	3,861,000	138	4,098,600	126	3,742,200	394	11,701,800
二 期	7								
	8								
	9								
	10	143	7,078,500	135	6,682,500	131	6,484,500	409	20,245,500
	11								
	計	143	7,078,500	135	6,682,500	131	6,484,500	409	20,245,500
三 期	12								
	1	143	5,633,100	135	5,316,300	131	5,187,600	409	16,137,000
	2								
	3								
	計	143	5,633,100	135	5,316,300	131	5,187,600	409	16,137,000
合 計		416	16,572,600	408	16,097,400	388	15,414,300	1,212	48,084,300

(全日制)

(令和7年度)  
(令和7年6月30日現在)

該当なし

# 納 状 況 調

(令和6年度)

収 納 の 状 況				異 動 者 等 の 状 況
納 期 内 収 納 額	納 期 後 収 納 額	収 入 未 済 額	収 納 率	
円	円	円	%	
				A 期首収納権利発生額 = 11,731,500 円 ( 1年 130 人 × 9,900 円 × 3 月 ) ( 2年 139 人 × 9,900 円 × 3 月 ) ( 3年 126 人 × 9,900 円 × 3 月 )
				B 収納権利増減 (▲) 額 = ▲ 29,700 円 (内訳) 8/7 : 2年 誤調定修正 ▲1 1人×9,900円×3月=▲29,700円
11,612,700	0	118,800	99.0	
▲29,700		118,800		
11,583,000	118,800	0	99.0	C 収納必要額 A+B = 11,701,800 円
				A 期首収納権利発生額 = 20,245,500 円 ( 1年 143 人 × 9,900 円 × 5 月 ) ( 2年 135 人 × 9,900 円 × 5 月 ) ( 3年 131 人 × 9,900 円 × 5 月 )
				B 収納権利増減 (▲) 額 = 0 円
19,998,000	0	247,500	98.8	
		247,500		
19,998,000	247,500	0	98.8	C 収納必要額 A+B = 20,245,500 円
				A 期首収納権利発生額 = 16,137,000 円 ( 1年 142 人 × 9,900 円 × 4 月 ) ( 1年 1 人 × 9,900 円 × 1 月 ) ( 2年 134 人 × 9,900 円 × 4 月 ) ( 2年 1 人 × 9,900 円 × 1 月 ) ( 3年 131 人 × 9,900 円 × 4 月 )
15,899,400	0	237,600	98.5	
		237,600		
				B 収納権利増減 (▲) 額 = 0 円
15,899,400	237,600	0	98.5	C 収納必要額 A+B = 16,137,000 円
47,480,400	603,900	0	98.7	D 収 納 必 要 額 = 48,084,300 円

# 授 業 料 収

(定時制)

期別	月別	調 定 の 状 況									
		1 年		2 年		3 年		4 年		計	
		人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額
一 期	4										
	5										
	6	1	5,400							1	5,400
		▲1	▲5,400							▲1	▲5,400
	7	1	8,100			1	8,100	1	8,100	3	24,300
	計	1	8,100			1	8,100	1	8,100	3	24,300
二 期	7										
	8										
	9										
	10	1	13,500			2	27,000	1	13,500	4	54,000
	11										
	計	1	13,500			2	27,000	1	13,500	4	54,000
三 期	12										
	1	1	10,800			2	21,600	1	10,800	4	43,200
	2										
	3										
	計	1	10,800			2	21,600	1	10,800	4	43,200
合 計		3	32,400			5	56,700	3	32,400	11	121,500

(定時制)

(令和7年度)

(令和7年6月30日現在)

該当なし

# 納 状 況 調

(令和6年度)

収 納 の 状 況				異 動 者 等 の 状 況
納 期 内 収 納 額	納 期 後 収 納 額	収 入 未 済 額		
円	%	円	円	
				A 期首収納権利発生額 = 24,300 円 ( 1年 1人 × 2,700 円 × 3 月 ) ( 3年 1人 × 2,700 円 × 3 月 ) ( 4年 1人 × 2,700 円 × 3 月 )
				B 収納権利増減 (▲) 額 = 0 円 (内訳) (生徒異動)
16,200	66.7	0	8,100	6/11 : 1年 退学 (支援金認定前) +1 1人 × 2,700円 × 2月 = 5,400円 6/27 : 1年 就学支援金認定 ▲1 1人 × 2,700円 × 2月 = ▲5,400円 (5/31退学者)
		8,100	0	
16,200	66.7	8,100	0	C 収納必要額 A+B = 24,300 円
				A 期首収納権利発生額 = 54,000 円 ( 1年 1人 × 2,700 円 × 5 月 ) ( 3年 2人 × 2,700 円 × 5 月 ) ( 4年 1人 × 2,700 円 × 5 月 )
				B 収納権利増減 (▲) 額 = 0 円
54,000	100.0	0	0	
54,000	100.0	0	0	C 収納必要額 A+B = 54,000 円
				A 期首収納権利発生額 = 43,200 円 ( 1年 1人 × 2,700 円 × 4 月 ) ( 3年 2人 × 2,700 円 × 4 月 ) ( 4年 1人 × 2,700 円 × 4 月 )
43,200	100.0	0	0	
				B 収納権利増減 (▲) 額 = 0 円
43,200	100.0	0	0	C 収納必要額 A+B = 43,200 円
113,400	93.3	8,100	0	D 収 納 必 要 額 = 121,500 円

...

□□□□□□

## 現金出納調

磐田南高等学校

(令和 6年度)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書数 発行総額及び 枚 数	
	越 高	受 高	計			円	円
教育手数料	円 0	円 2,105,100	円 2,105,100	円 2,105,100	円 0	円 2,105,100 530 枚	円 2,105,100 99 枚
計	0	2,105,100	2,105,100	2,105,100	0	2,105,100 530 枚	2,105,100 99 枚

□□□□□□

## 現金出納調

磐田南高等学校

(令和 7年度)

(令和 7年 6月30日現在)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数		現金払込調書 兼領収書総額 及び枚数	
	越 高	受 高	計			円	円	円	円
教育手数料	円 0	円 1,986,700	円 1,986,700	円 1,986,700	円 0	円 1,986,700 416 枚	円 1,986,700 30 枚		
計	0	1,986,700	1,986,700	1,986,700	0	1,986,700 416 枚	1,986,700 30 枚		

□□□□□□

## 預 金 調

(令和7年6月30日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高(円)	摘要
静岡銀行 磐田支店	無利息型 普通預金	0089493	静岡県立磐田南高等学校 資金前渡者 花崎 武彦	0	給与等振込用
静岡銀行 磐田支店	無利息型 普通預金	0549538	(自振口)静岡県立磐田南高等学校 資金前渡者 花崎 武彦	0	公共料金引落用
残 高 合 計				0	

□□□□□□

## 郵 券 等 受 払 調

(令和7年6月30日現在)

(単位：枚、円)

区分	種類	令和6年度						令和7年度						摘要		
		繰越		受入		払出		繰越		受入		払出			差引現在高	
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		枚数	金額
郵便	2円券	8	16					8	16					8	16	文書送付
	10円券															
	52円券	3	156					3	156					3	156	文書送付
	63円券	3	189					3	189					3	189	文書送付
	84円券															
計		/	361	/		/		/	361	/		/		/	361	

□□□□□□

## 歳入歳出外現金調

県立高校中学校 磐田南高校

(令和 6年度)  
(令和 7年 3月31日現在)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 509,448	円 509,448	円 0	
教職員互助組合掛金等	0	10,685	10,685	0	
所得税	34,770	443,320	452,563	25,527	
保証金	64,100	0	0	64,100	
計	98,870	963,453	972,696	89,627	

□□□□□□

## 歳入歳出外現金調

県立高校中学校 磐田南高校

(令和 7年度)  
(令和 7年 6月30日現在)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 163,547	円 110,193	円 53,354	
教職員互助組合掛金等	0	966	966	0	
所得税	25,527	126,330	97,419	54,438	
保証金	64,100	0	0	64,100	
計	89,627	290,843	208,578	171,892	

## 歳出予算執行状況調

(令和 6年度)  
(令和 7年 5月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 11 教育費	145,424,648	145,424,648	0	
項 02 教育委員会費	8,298,712	8,298,712	0	
目 02 教育総務費	339,665	339,665	0	
01 報酬	19,665	19,665	0	
03 非常勤職員報酬	19,665	19,665	0	
07 報償費	320,000	320,000	0	
01 その他の報償費	320,000	320,000	0	
目 03 教育管理費	7,839,047	7,839,047	0	
07 報償費	0	0	0	
01 その他の報償費	0	0	0	
08 旅費	24,849	24,849	0	
01 その他の旅費	0	0	0	
02 普通旅費	24,849	24,849	0	
10 需用費	4,932,680	4,932,680	0	
01 その他の需用費	4,932,680	4,932,680	0	
12 委託料	2,183,614	2,183,614	0	
13 使用料及び賃借料	252,404	252,404	0	
14 工事請負費	445,500	445,500	0	
目 04 教育厚生費	120,000	120,000	0	
01 報酬	120,000	120,000	0	
03 非常勤職員報酬	120,000	120,000	0	
項 05 高等学校費	130,698,909	130,698,909	0	
目 01 高等学校総務費	22,596,039	22,596,039	0	
01 報酬	15,252,329	15,252,329	0	
03 非常勤職員報酬	15,252,329	15,252,329	0	
03 職員手当等	2,917,742	2,917,742	0	
01 その他の職員手当等	2,917,742	2,917,742	0	
04 共済費	3,287,826	3,287,826	0	

一般会計

(令和 6年度)  
(令和 7年 5月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
02報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	3,287,826	3,287,826	0	
08旅費	1,138,142	1,138,142	0	
01その他の旅費	894,815	894,815	0	
02普通旅費	243,327	243,327	0	
目 02高等学校管理費	108,102,870	108,102,870	0	
01報酬	1,688,840	1,688,840	0	
03非常勤職員報酬	1,688,840	1,688,840	0	
04共済費	731	731	0	
02報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	731	731	0	
07報償費	285,410	285,410	0	
01その他の報償費	285,410	285,410	0	
08旅費	4,945,050	4,945,050	0	
01その他の旅費	27,365	27,365	0	
02普通旅費	4,917,685	4,917,685	0	
10需用費	14,759,401	14,759,401	0	
01その他の需用費	14,759,401	14,759,401	0	
11役務費	1,422,004	1,422,004	0	
12委託料	2,955,845	2,955,845	0	
13使用料及び賃借料	1,153,349	1,153,349	0	
17備品購入費	340,340	340,340	0	
18負担金、補助及び交付金	71,590,400	71,590,400	0	
19扶助費	8,961,500	8,961,500	0	
項 08学校教育費	6,427,027	6,427,027	0	
目 01高校教育費	4,292,455	4,292,455	0	
01報酬	3,056,521	3,056,521	0	
03非常勤職員報酬	3,056,521	3,056,521	0	
04共済費	545,278	545,278	0	
02報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	545,278	545,278	0	

## 一般会計

(令和 6年度)  
(令和 7年 5月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
07 報償費	549,750	549,750	0	
01 その他の報償費	549,750	549,750	0	
08 旅費	109,644	109,644	0	
01 その他の旅費	75,791	75,791	0	
02 普通旅費	33,853	33,853	0	
10 需用費	31,262	31,262	0	
01 その他の需用費	31,262	31,262	0	
目 04 健康体育費	2,134,572	2,134,572	0	
01 報酬	972,000	972,000	0	
03 非常勤職員報酬	972,000	972,000	0	
04 共済費	6,821	6,821	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	6,821	6,821	0	
07 報償費	414,600	414,600	0	
01 その他の報償費	414,600	414,600	0	
08 旅費	114,096	114,096	0	
01 その他の旅費	114,096	114,096	0	
10 需用費	32,340	32,340	0	
01 その他の需用費	32,340	32,340	0	
11 役務費	594,715	594,715	0	
計	145,424,648	145,424,648	0	

## 歳出予算執行状況調

(令和 7年度)  
(令和 7年 6月30日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 12教育費	130,265,164	10,354,410	119,910,754	
項 02教育委員会費	6,411,924	494,365	5,917,559	
目 03教育管理費	6,291,924	494,365	5,797,559	
07 報償費	20,000	0	20,000	
01 その他の報償費	20,000	0	20,000	
08 旅費	22,400	1,482	20,918	
01 その他の旅費	2,400	0	2,400	
02 普通旅費	20,000	1,482	18,518	
10 需用費	1,081,000	39,463	1,041,537	
01 その他の需用費	1,081,000	39,463	1,041,537	
12 委託料	4,916,120	453,420	4,462,700	
13 使用料及び賃借料	252,404	0	252,404	
目 04教育厚生費	120,000	0	120,000	
01 報酬	120,000	0	120,000	
03 非常勤職員報酬	120,000	0	120,000	
項 05高等学校費	115,372,600	7,634,820	107,737,780	
目 01高等学校総務費	18,586,000	4,615,371	13,970,629	
01 報酬	12,233,000	2,699,489	9,533,511	
03 非常勤職員報酬	12,233,000	2,699,489	9,533,511	
03 職員手当等	2,092,000	1,045,638	1,046,362	
01 その他の職員手当等	2,092,000	1,045,638	1,046,362	
04 共済費	3,315,000	354,540	2,960,460	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	3,315,000	354,540	2,960,460	
08 旅費	946,000	515,704	430,296	
01 その他の旅費	586,000	156,349	429,651	
02 普通旅費	360,000	359,355	645	
目 02高等学校管理費	96,786,600	3,019,449	93,767,151	
01 報酬	212,000	7,500	204,500	

一般会計

(令和 7年度)  
(令和 7年 6月30日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
03非常勤職員報酬	212,000	7,500	204,500	
04共済費	3,000	0	3,000	
02報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	3,000	0	3,000	
07報償費	330,000	0	330,000	
01その他の報償費	330,000	0	330,000	
08旅費	4,986,200	773,426	4,212,774	
01その他の旅費	63,840	0	63,840	
02普通旅費	4,922,360	773,426	4,148,934	
10需用費	13,483,640	1,807,429	11,676,211	
01その他の需用費	13,483,640	1,807,429	11,676,211	
11役務費	1,645,400	51,440	1,593,960	
12委託料	2,584,000	166,071	2,417,929	
13使用料及び賃借料	1,312,360	177,083	1,135,277	
17備品購入費	500,000	0	500,000	
18負担金、補助及び交付金	71,730,000	36,500	71,693,500	
項 08学校教育費	8,480,640	2,225,225	6,255,415	
目 01高校教育費	6,491,000	1,337,321	5,153,679	
01報酬	4,890,000	1,101,000	3,789,000	
03非常勤職員報酬	4,890,000	1,101,000	3,789,000	
04共済費	708,000	104,496	603,504	
02報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	708,000	104,496	603,504	
07報償費	758,000	126,000	632,000	
01その他の報償費	758,000	126,000	632,000	
08旅費	115,000	5,825	109,175	
01その他の旅費	90,000	5,825	84,175	
02普通旅費	25,000	0	25,000	
10需用費	20,000	0	20,000	
01その他の需用費	20,000	0	20,000	

□□□□□□

一般会計

(令和 7年度)  
(令和 7年 6月30日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
目 04 健康体育費	1,989,640	887,904	1,101,736	
01 報酬	280,000	146,000	134,000	
03 非常勤職員報酬	280,000	146,000	134,000	
07 報償費	968,140	111,600	856,540	
01 その他の報償費	968,140	111,600	856,540	
08 旅費	120,000	12,214	107,786	
01 その他の旅費	120,000	12,214	107,786	
11 役務費	621,500	618,090	3,410	
計	130,265,164	10,354,410	119,910,754	

□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					令和5年度	令和6年度	
							左のうち、 5年度からの 繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	/	2,183,614	/
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		2,955,845	
計					7,064,442	5,139,459	0
(14) 工事請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	/	445,500	/
計					0	445,500	0
(16) 公有財産購入費					/		/
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	/	340,340	/
計					943,690	340,340	0
(18) 負担金、補助 及び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	/	71,590,400	/
計					71,725,700	71,590,400	0
(21) 補償、補填及 び賠償金					/		/
計					0	0	0

□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年6月30日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						うち、6年度 からの繰越額 分
(12) 委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	453,420	0
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	166,071	0
計					619,491	0
(14) 工事請負費						
計					0	0
(16) 公有財産購入費						
計					0	0
(17) 備品購入費						
計					0	0
(18) 負担金、補助 及び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	36,500	0
計					36,500	0
(21) 補償、補填及 び賠償金						
計					0	0

# 委託料に関する調

(令和6年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	警備業務	総合警備保障(株) 静岡支社	円 20,790,000	円 17,166,600	円 0	円 17,166,600	一般	1.10.1 ～ 6.9.30	6.6.20 6.6.28 6.7.31 6.8.30 6.9.30 6.10.31 小計	円 (15,449,940) 286,110 286,110 286,110 286,110 286,110 286,110 1,716,660	磐田・袋井地区9校事務室等機械警備業務	R元長期 袋井高 袋井商業高 袋井特支 磐田南高 磐田北高 磐田西高 磐田農業高 浜松特支 磐田分校 袋井特支 磐田見付分校
2	警備業務	総合警備保障(株) 静岡支社	円 18,414,000	円 13,602,600	円 0	円 13,602,600	一般	6.10.1 ～ 11.9.30	6.11.29 6.12.26 7.1.31 7.2.28 7.3.31 7.4.30 小計	円 226,710 226,710 226,710 226,710 226,710 226,710 1,360,260	磐田・袋井地区9校事務室等機械警備業務	R6長期 袋井高 袋井商業高 袋井特支 磐田南高 磐田北高 磐田西高 磐田農業高 浜松特支 磐田分校 袋井特支 磐田見付分校
3	産業廃棄物収集運搬処分業務	(株)ハシモト	収集運搬料 1,230円(税抜)/回 処分料 96円(税抜)/kg	収集運搬料 820円(税抜)/回 処分料 80円(税抜)/kg	円 0	収集運搬料 820円(税抜)/回 処分料 80円(税抜)/kg	随契	6.4.12 ～ 7.3.31	6.5.31 6.6.28 6.7.31 6.9.9 6.9.30 6.10.31 6.11.29 6.12.26 7.1.31 7.2.28 7.3.31 7.4.1 小計	円 6,586 5,244 5,218 6,001 5,557 4,928 4,813 5,830 5,544 6,608 4,483 4,127 64,939	廃棄物収集運搬処分業務	随契1号(少額) 単価契約
4	エレベーター保守点検業務	(株)日立ビルシステム 中部支社	円 938,897	円 897,600	円 0	円 897,600	随契	6.4.1 ～ 7.3.31	6.5.31 6.6.28 6.7.31 6.8.30 6.9.30 6.10.31 6.11.29 6.12.26 7.1.31 7.2.28 7.3.31 7.4.30 小計	円 74,800 74,800 74,800 74,800 74,800 74,800 74,800 74,800 74,800 74,800 74,800 74,800 897,600	エレベーター保守点検業務	随契1号(少額)

5	建築物環境衛生管理業務	東海ビル管理(株)	円 883,300	円 883,300	円 0	円 883,300	随契	6.4.1 ～ 7.3.31	6.7.31 6.10.31 7.1.31 7.4.30 小計	円 165,000 357,500 181,500 179,300 883,300	建築物衛生法第4条に基づく特定建築物の維持管理業務	随契1号(少額)
6	産業廃棄物収集運搬処分業務	東名興産(株)	円 51,700	円 51,700	円 0	円 51,700	随契	6.7.1 ～ 6.12.27	6.9.30	円 51,700	産業廃棄物収集運搬及び処分業務	随契1号(少額)
7	産業廃棄物収集運搬処分業務	(株)太洋サービス	円 66,000	円 66,000	円 0	円 66,000	随契	6.9.24 ～ 7.2.28	6.11.29	円 66,000	産業廃棄物収集運搬及び処分業務	随契1号(少額)
8	産業廃棄物収集運搬処分業務	(株)リサイクルクリーン	円 99,000	円 99,000	円 0	円 99,000	随契	6.12.9 ～ 7.2.28	7.4.4	円 99,000	産業廃棄物収集運搬及び処分業務	随契1号(少額)
合計		8件								円 5,139,459		

# 委託料に関する調

(令和6年度)

整理 番号	委託 業務名	受託者	当 初 設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の 内 容	摘 要
				当初額	変更 増減額	計						
参考 1	消防用設備等保守点検業務	静岡県消防設備保守点検業協同組合		円	円	円		6.4.1 ～ 7.3.31			磐田農業高校外8校の消防用設備等保守点検業務	磐田農業高
参考 2	浄化槽保守点検業務	(株)フクエイ						6.4.1 ～ 7.3.31			袋井商業高校外3校の浄化槽設備保守点検業務	袋井商業高
参考 3	プール浄化装置保守点検業務	(有)山静商会						6.4.12 ～ 6.11.29			磐田西高校外6校のプール浄化装置保守点検業務	磐田西高
参考 4	可燃物収集運搬処分業務	(株)ハシモト						6.4.12 ～ 7.3.31			磐田西高校外4校の可燃物収集運搬処理業務	磐田西高
参考 5	自家用電気工作物保安管理業務	遠鉄アシスト(株)						6.4.1 ～ 7.3.31			磐田北高校外3校の自家用電気工作物保安管理業務	磐田北高
参考 6	建築基準法第12条に基づく定期点検業務	(有)コーセイ産業						6.11.1 ～ 7.2.28			磐田袋井地区9校の建築基準法第12条に基づく定期点検業務	磐田農業高
合 計		6 件										

# 委託料に関する調

(令和7年度)

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	委託 業務名	受託者	当初 設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の 内 容	摘 要
				当初額	変更 増減額	計						
1	警備業務	総合警備保障(株)静岡支社	円 18,414,000	円 13,602,600	円 0	円 13,602,600	一般	6.10.1 ～ 11.9.30	7.5.30 7.6.38  小計	円 (1,360,260) 226,710 226,710  453,420	磐田・袋井地区9校事務室等機械警備業務	R 6 長期  袋井高袋井商業高袋井特支磐田南高磐田北高磐田西高磐田農業高浜松特支磐田分校袋井特支磐田見付分校
2	産業廃棄物収集運搬処分業務	(株)ハシモト	収集運搬料 950円(税抜)/回 処分料 80円(税抜)/kg	収集運搬料 950円(税抜)/回 処分料 80円(税抜)/kg	0	収集運搬料 950円(税抜)/回 処分料 80円(税抜)/kg	随契	7.4.4 ～ 8.3.31	7.5.30 7.6.30  小計	7,726 8,745  16,471	廃棄物収集運搬処分業務	随契1号(少額)単価契約
3	エレベーター保守点検業務	(株)日立ビルシステム 中部支社	970,522	897,600	0	897,600	随契	7.4.1 ～ 8.3.31	7.5.30 7.6.30  小計	74,800 74,800  149,600	エレベーター保守点検業務	随契1号(少額)
4	建築物環境衛生管理業務	東海ビル管理(株)	円 1,284,800	円 1,284,360	円 0	円 1,284,360	指名	7.4.1 ～ 8.3.31		円 0	建築物衛生法第4条に基づく特定建築物の維持管理業務	
合 計		4 件								619,491		

# 委 託 料 に 関 す る 調

(令和7年度)

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	委 託 業務名	受託者	当 初 設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の 内 容	摘 要
				当初額	変更 増減額	計						
参 考 1	消防用設備等保守点検業務	静岡県消防設備保守点検業協同組合		円	円	円		7.4.1 ～ 8.3.31			磐田農業高校外8校の消防用設備等保守点検業務	磐田農業高
参 考 2	浄化槽保守点検業務	(株)フクエイ		2,442,660	0	2,442,660		7.4.1 ～ 8.3.31			袋井商業高校外3校の浄化槽設備保守点検業務	袋井商業高
参 考 3	プール浄化装置保守点検業務	(有)山静商会		467,500	0	467,500		7.4.11 ～ 7.11.28			磐田西高校外6校のプール浄化装置保守点検業務	磐田西高
参 考 4	可燃物収集運搬処分業務	(株)ハシモト		運搬料1回 5,400円(税抜) 処分料1kg 16円(税抜) 容器料1月 1,000円(税抜)	0	運搬料1回 5,400円(税抜) 処分料1kg 16円(税抜) 容器料1月 1,000円(税抜)		7.4.11 ～ 8.3.31			磐田西高校外4校の可燃物収集運搬処理業務	磐田西高
参 考 5	自家用電気工作物保安管理業務	遠鉄アシスト(株)		1,490,280	0	1,490,280		7.4.1 ～ 8.3.31			磐田北高校外3校の自家用電気工作物保安管理業務	磐田北高
	計	5 件										

□□□□□□

## 負 担 金 支 出 調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	会議参加費	全国高等学校長協会	開催通知	全国高等学校長協会 総会並びに研究協議会	4,000	6.4.30
2	会議参加費	東海四県高等学校長 生徒指導連絡協議会	開催通知	東海四県高等学校長生徒指導連 絡協議会	2,000	6.7.4
3	会議参加費	東海地区高等学校教頭・副 校長会連絡協議会	開催通知	東海地区高等学校教頭副校長会連 絡協議会総会及び研究協議会	2,000	6.9.30
小計		3件			8,000	
1	高等学校等就学支 援金	定時制高等学校授業料 (第1期退学者1名分) 4月5 月分	高等学校等就学支援金の支 給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業 料に充てる	5,400	振替日 6.7.5
2	高等学校等就学支 援金	全日制高等学校授業料 1～3学年(第1期分579人)	高等学校等就学支援金の支 給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業 料に充てる	17,196,300	振替日 6.7.31
3	高等学校等就学支 援金	定時制高等学校授業料 1～4学年(第1期分122人)	高等学校等就学支援金の支 給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業 料に充てる	988,200	振替日 6.7.31
4	高等学校等就学支 援金	全日制高等学校授業料 (第1期1名分) 4～6月分	高等学校等就学支援金の支 給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業 料に充てる	29,700	振替日 6.8.16
5	高等学校等就学支 援金	全日制高等学校授業料 1～3学年(第2期分565人)	高等学校等就学支援金の支 給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業 料に充てる	27,967,500	振替日 6.10.31
6	高等学校等就学支 援金	全日制高等学校授業料 (転出者1名分) 7～9月分	高等学校等就学支援金の支 給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業 料に充てる	29,700	振替日 6.10.31
7	高等学校等就学支 援金	定時制高等学校授業料 1～4学年(第2期分121人)	高等学校等就学支援金の支 給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業 料に充てる	1,633,500	振替日 6.10.31
8	高等学校等就学支 援金	定時制高等学校授業料 (退学者1名分) 12月分	高等学校等就学支援金の支 給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業 料に充てる	2,700	振替日 6.12.20
9	高等学校等就学支 援金	全日制高等学校授業料 1～3学年(第3期分565人)	高等学校等就学支援金の支 給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業 料に充てる	22,433,400	振替日 7.1.31
10	高等学校等就学支 援金	定時制高等学校授業料 1～4学年(第3期分120人)	高等学校等就学支援金の支 給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業 料に充てる	1,290,600	振替日 7.1.31
11	高等学校等就学支 援金	定時制高等学校授業料 (学び直し2～3月分1人)	高等学校等修学支援事業補助 金(学びなおしへの支援)交付 要綱	高等学校に在籍する生徒の授業 料に充てる	5,400	振替日 7.1.31
小計		11件			71,582,400	
合計		14件			71,590,400	

(令和7年度)

(令和7年6月30日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	会議参加費	全国高等学校長協会	開催通知	全国高等学校長協会 総会並びに研究協議会	4,000	7.4.28
2	会議参加費	全国定通制高等学校長協会	開催通知	全国定通制高等学校長協会 総会並びに研究協議会	1,000	7.5.9
3	会議参加費	東海四県高等学校長 生徒指導連絡協議会	開催通知	東海四県高等学校長 生徒指導連絡協議会	4,000	7.6.25
4	会議参加費	全国高等学校定通制教頭・副 校長協会	開催通知	全国高等学校定通制教頭・副校 長協会教育研究協議会	5,000	7.6.30
合計		4件			14,000	
1	高等学校等就学支 援金	定時制高等学校授業料 休学者1名4月分	高等学校等就学支援金の支 給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業 料に充てる	2,700	振替日 7.6.6
2	高等学校等就学支 援金	全日制高等学校授業料 (第1期転学者1名分)	高等学校等就学支援金の支 給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業 料に充てる	19,800	振替日 7.6.11
小計		2件			22,500	
合計		6件			36,500	

□□□□□□

## 建 築 工

整理 番号	予 算 科 目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設 計 金 額	契 約	
					当 初 額	変 更 増 減 額
1	教育管理費	プールろ過機2号機五方 弁修繕工事	磐田市見付地内	円 451,000	円 445,500	円 0
		合 計	1 件	451,000	445,500	0
参考 1	教育管理費	磐田南高等学校校舎棟解 体工事	磐田市見付地内	円 284,328,000	円 217,800,000	円 25,685,000
参考 2	教育管理費	磐田南高等学校電気設備 改修工事	磐田市見付地内	円 37,774,000	円 35,200,000	円 9,141,000
参考 3	教育管理費	磐田南高等学校機械設備 改修工事	磐田市見付地内	円 19,624,000	円 17,963,000	円 5,126,000
参考 4	教育管理費	磐田南高等学校弓道場新 築他工事（建築）	磐田市見付地内	円 271,030,000	円 242,000,000	円 30,415,000
参考 5	教育管理費	磐田南高等学校弓道場新 築他工事（電気設備）	磐田市見付地内	円 27,071,000	円 27,060,000	円 4,851,000

□□□□□□

## 建 築 工

整理 番号	予 算 科 目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設 計 金 額	契 約	
					当 初 額	変 更 増 減 額
参考 1	教育管理費	磐田南高等学校弓道場新 築他工事（建築）	磐田市見付地内	円 271,030,000	円 242,000,000	円 30,415,000
参考 2	教育管理費	磐田南高等学校弓道場新 築他工事（電気設備）	磐田市見付地内	円 27,071,000	円 27,060,000	円 4,851,000

## 事 調

(令和6年度)

金額	契約締結方法	受注者	着手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工 事 概 要	公有財産台帳	摘 要
計							
円				円			
445,500	随契	有限会社 山静商会	着手 R7. 1. 22 完成 R7. 3. 10	445,500	プールろ過機2号機五方弁の修繕	-	令達年月日 R6. 12. 24 支払年月日 R7. 4. 2 随契1号(少額)
445,500				445,500			
円				円			
243,485,000	制限付一般競争入札	株式会社 成美	着手 R5. 9. 12 完成 R6. 5. 31	243,485,000	解体工事一式	済	令達年月日 R6. 4. 1 R6. 5. 27 支払年月日 R6. 8. 1 令和5年度繰越
円				円			
44,341,000	制限付一般競争入札	浜電工業 株式会社	着手 R5. 9. 13 完成 R6. 7. 31	44,341,000	旧校舎棟、渡り廊下、駐輪場及びプレハブ教室棟解体に伴う改修工事、電灯幹線・動力幹線切廻し	済	令達年月日 R6. 4. 1 支払年月日 R6. 9. 18 令和5年度繰越
円				円			
23,089,000	一般競争	株式会社 掛川水道設備	着手 R5. 9. 13 完成 R6. 7. 31	(7,180,000) 15,909,000	旧校舎棟、渡り廊下、駐輪場及びプレハブ教室棟解体に伴う機械設備工事一式	-	令達年月日 R6. 4. 1 支払年月日 R5. 9. 27 R6. 9. 24 令和5年度繰越
円				円			
272,415,000	指名競争	石川建設 株式会社	着手 R6. 10. 17 完成 R7. 5. 19	0	弓道場射場、弓道場の場、駐輪場1・2、渡り廊下建築工事、テニスコート、陸上練習場他外構工事及び本工事に伴う機械設備工事一式	予	令達年月日 R6. 7. 19 R6. 9. 13
円				円			
31,911,000	制限付一般競争入札	株式会社 川北電気	着手 R6. 10. 30 完成 R7. 5. 19	0	弓道場新築他工事に伴う電気設備工事一式	予	令達年月日 R6. 7. 19

## 事 調

(令和7年度)

(令和7年6月30日現在)

金額	契約締結方法	受注者	着手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工 事 概 要	公有財産台帳	摘 要
計							
円				円			
272,415,000	指名競争	石川建設 株式会社	着手 R6. 10. 17 完成 R7. 5. 19	272,415,000	弓道場射場、弓道場の場、駐輪場1・2、渡り廊下建築工事、テニスコート、陸上練習場他外構工事及び本工事に伴う機械設備工事一式	予	令達年月日 R7. 4. 1 支払年月日 R7. 6. 20 令和6年度繰越
円				円			
31,911,000	制限付一般競争入札	株式会社 川北電気	着手 R6. 10. 30 完成 R7. 5. 19	31,911,000	弓道場新築他工事に伴う電気設備工事一式	予	令達年月日 R7. 4. 1 支払年月日 R7. 7. 4 令和6年度繰越

□□□□□□

# 公 有 財 産 調

(令和7年度)  
(令和7年6月30日現在)

区 分	令和7年3月31日現在		増		減		令和7年6月30日現在		摘要
	数量又 は面積	台帳価格	数量又 は面積	台帳価格	数量又 は面積	台帳価格	数量又 は面積	台帳価格	
行政財産		千円 5,267,994		千円		千円		千円 5,267,994	
土地	m <sup>2</sup> 47,927.05	3,111,130					m <sup>2</sup> 47,927.05	3,111,130	
立木竹	本 34	1,243					本 34	1,243	
建物	m <sup>2</sup> 6,679.57 13,747.83	2,155,621					m <sup>2</sup> 6,679.57 13,747.83	2,155,621	
工作物	個 30						個 30		
公有財産に準ずるもの		157						157	
電話加入権	件 6	157					件 6	157	

□□□□□□

# 借 地 借 家 等 調

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所 在 地	地 目		数量又 は面積	借 料		契約期間	所有者又 は契約者 氏 名	用途
				台帳	現況		単 価	年 額			
1	土地	学校 敷地	磐田市国府台 字批把打 34	宅地	学校 敷地	m <sup>2</sup> 244.19	円 766	円 252,404	自R5.4.1 至R8.3.31	磐田市長	学校 敷地
			磐田市見付字 只来 3082-3			70.72					
			磐田市国府台 字尼寺 42			14.60					
計					329.51		252,404				
2	建物	住宅 建	磐田市見付 3084	鉄筋コン クリート造 3階建	428.21	無償	自R3.4.1 至R8.3.31	(一社)静岡 県立磐田 南高等学 校後援会 理事長	生活館		
					754.32						
計					428.21 754.32						

□□□□□□

## 事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和6年度)

区分	事業名又は契約名	内 容	契約額	( 契 約 額 の 年 度 別 内 訳 )					
				平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
長期継続契約	業務警備委託	静岡県立磐田南高等学校外8校警備業務 (契約日) 令和元年9月11日	円 17,166,600	円 1,716,660	円 3,433,320	円 3,433,320	円 3,433,320	円 3,433,320	円 1,716,660
	電子複写機使用契約	電子複写機機器使用料 3台分 (契約日) 令和2年4月1日	円 4,527,279		円 962,593	円 931,956	円 888,614	円 878,196	円 865,920

区分	事業名又は契約名	内 容	契約額	( 契 約 額 の 年 度 別 内 訳 )					
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
長期継続契約	業務警備委託	静岡県立磐田南高等学校外8校警備業務 (契約日) 令和6年9月6日	円 13,602,600	円 1,360,260	円 2,720,520	円 2,720,520	円 2,720,520	円 2,720,520	円 1,360,260

(令和7年度)

(令和7年6月30日現在)

区分	事業名又は契約名	内 容	契約額	( 契 約 額 の 年 度 別 内 訳 )					
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
長期継続契約	業務警備委託	静岡県立磐田南高等学校外8校警備業務 (契約日) 令和6年9月6日	円 13,602,600	円 1,360,260	円 2,720,520	円 2,720,520	円 2,720,520	円 2,720,520	円 1,360,260
	電子複写機使用契約	電子複写機機器使用料 3台分 (契約日) 令和7年4月1日	円 3,161,400		円 632,280	円 632,280	円 632,280	円 632,280	円 632,280

## 行政財産貸付・使用許可調

(令和7年6月30日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	磐田市見付3084	学校敷地	学校敷地	本柱2本 支線1条	1,500	円 4,500	3.4.1 ～ 8.3.31	西日本電信電話(株)静岡支店長	電気通信線路設備維持
2	土地	学校敷地	磐田市見付3084	学校敷地	学校敷地	本柱1本 支線柱2本 支線8条	1,500	16,500	3.4.1 ～ 8.3.31	中部電力パワーグリッド(株)磐田営業所長	電力供給用
3	土地	学校敷地	磐田市見付3084	学校敷地	学校敷地	0.98 m <sup>2</sup>	—	免除	3.4.1 ～ 8.3.31	磐田市市長	道路照明灯用支柱2本
4	土地	学校敷地	磐田市見付3084	学校敷地	学校敷地	0.09 m <sup>2</sup>	—	免除	7.4.1 ～ 8.3.31	磐田市市長	総合健康福祉会館案内看板柱1本
5	土地	学校敷地	磐田市見付3084	学校敷地	学校敷地	1.00 m <sup>2</sup>	—	16,270	7.4.1 ～ 8.3.31	(一社)静岡県立磐田南高等学校後援会理事長	飲食用自動販売機2台敷地
	建物	事務所建		S造 4階建	1.00 m <sup>2</sup>						
6	土地	学校敷地	磐田市見付3084	学校敷地	学校敷地	0.84 m <sup>2</sup>	—	免除	7.4.1 ～ 12.3.31	静岡県立磐田南高等学校同窓会長	旗掲揚台敷地
7	土地	学校敷地	磐田市見付3084	学校敷地	学校敷地	428.21 m <sup>2</sup>	—	免除	3.4.1 ～ 8.3.31	(一社)静岡県立磐田南高等学校後援会理事長	生活館敷地
8	土地	学校敷地	磐田市見付3084	学校敷地	学校敷地	10.27 m <sup>2</sup>	—	免除	5.4.1 ～ 10.3.31	静岡県立磐田南高等学校同窓会長	顕彰碑・招魂碑・頌徳之碑敷地
9	土地	学校敷地	磐田市見付3084	学校敷地	学校敷地	1.26 m <sup>2</sup>	—	免除	4.4.1 ～ 9.3.31	静岡県立磐田南高等学校PTA会長	校訓碑敷地
10	建物	事務所建	磐田市見付3084	S造 4階建		17.94 m <sup>2</sup>	—	免除	7.4.1 ～ 10.3.31	(一社)静岡県立磐田南高等学校後援会理事長	購買室設置
11	土地	学校敷地	磐田市見付3084	学校敷地	学校敷地	8.80 m <sup>2</sup>	—	免除	7.4.1 ～ 10.3.31	(一社)静岡県立磐田南高等学校後援会理事長	団体職員執務場所(机・椅子他)
	建物	事務所建		S造 4階建	3.30 m <sup>2</sup>						
12	建物	事務所建	磐田市見付3084	S造 4階建		3.30 m <sup>2</sup>	—	免除	7.4.1 ～ 10.3.31	静岡県立磐田南高等学校PTA会長	団体職員執務場所(机・椅子他)
13	土地	学校敷地	磐田市見付3084	学校敷地	学校敷地	8.80 m <sup>2</sup>	—	免除	7.4.1 ～ 10.3.31	静岡県立磐田南高等学校同窓会長	団体職員執務場所(駐車場)
14	土地	学校敷地	磐田市見付3084	学校敷地	学校敷地	2.01 m <sup>2</sup>	—	免除	6.4.1 ～ 9.3.31	静岡県立磐田南高等学校PTA会長	校歌碑敷地
15	土地	学校敷地	磐田市見付3084	学校敷地	学校敷地	2.21 m <sup>2</sup>	—	免除	6.4.1 ～ 10.3.31	静岡県立磐田南高等学校同窓会長	卒業50周年記念碑敷地
16	土地	学校敷地	磐田市見付3084	学校敷地	学校敷地	1.00 m <sup>2</sup>	—	円 641,000	6.4.1 ～ 9.3.31	コカ・コーラボトラーズジャパン(株)ペンディング中部日本地区統括部ペンディング浜松支店長	飲料用自動販売機1台敷地
17	土地	学校敷地	磐田市見付3084	学校敷地	学校敷地	1.00 m <sup>2</sup>	—	免除	7.4.1 ～ 10.3.31	磐田警察署長	交通信号機用専用柱1本
合計								678,270			

## 普通財産・借受財産等貸付調

(令和7年6月30日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	磐田市 国府台字 批把打34 国府台字 尼寺42	学校敷地	学校敷地	本柱3本	1,500	4,500 円	5.4.1 ～ 8.3.31	西日本電信電話 (株)静岡支店長	電気通信線 路設備維持
2	建物	住宅建	磐田市 見付308 4	RC造	3階建	22.10 m <sup>2</sup>	—	免除	7.4.1 ～ 10.3.31	静岡県立磐田南 高等学校同窓会 長	団体職員執 務場所(机・ 椅子他)
合計								4,500			

## 備品・図書調

所属 0000220815 県立高校・中学校 磐田南高等学校

区分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	3	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	3
01-04 収納保管庫類	16	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	16
01-05 印刷機器類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
01-07 書類整理器具類	2	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	2
01-10 印判類	4	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	4
01-12 寝具類	3	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	3
01-13 厨房器具類	5	( 0 ) 0	0	( 0 ) 1	0	4
01-14 冷暖房器具類	0	( 0 ) 1	0	( 0 ) 0	0	1
01-99 その他の庁用器具類	3	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	3
02-01 情報処理機器類	339	( 3 ) 5	340,340	( 0 ) 0	0	344
02-02 情報伝達機器類	13	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	13
03-01 撮影機器類	2	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	2
03-02 観察・観測用光学機器類	19	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	19
03-03 視覚用再生等機器類	2	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	2
04-01 診療・診断用機器類	3	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	3
04-02 衛生検査用機器類	4	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	4
04-99 その他の医療衛生機器類	5	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	5
05-02 波動・熱試験計測機器類	5	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	5
05-03 電気試験計測機器類	6	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	6

## 備品・図書調

所属 0000220815 県立高校・中学校 磐田南高等学校

区分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
05-04 分析化学機器類	2	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	2
05-06 環境化学機器類	3	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	3
05-08 度量衡測定機器類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
05-09 天体気象観測機器類	3	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	3
05-10 身体測定用機器類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 1	0	0
05-99 その他の試験計測機器類	4	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	4
06-03 繊維染色縫製機器類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
06-04 電気電子機器類	3	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	3
08-01 車両類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
10-05 生物物理化学用器具類	6	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	6
10-06 家庭科用器具類	6	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	6
10-07 音楽用器具類	15	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	15
10-10 地学天文学用器具類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
10-12 体育保健用器具類	18	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	18
10-99 その他の教育用器具類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
12-01 雑機器	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
計	502	( 3 ) 6	340,340	( 0 ) 2	0	506

## 備品・図書調

所属 0000220815 県立高校・中学校 磐田南高等学校

区分	令和 7年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 6月30日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	3	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	3
01-04 収納保管庫類	16	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	16
01-05 印刷機器類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
01-07 書類整理器具類	2	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	2
01-10 印判類	4	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	4
01-12 寝具類	3	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	3
01-13 厨房器具類	4	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	4
01-14 冷暖房器具類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
01-99 その他の庁用器具類	3	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	3
02-01 情報処理機器類	344	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	344
02-02 情報伝達機器類	13	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	13
03-01 撮影機器類	2	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	2
03-02 観察・観測用光学機器類	19	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	19
03-03 視覚用再生等機器類	2	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	2
04-01 診療・診断用機器類	3	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	3
04-02 衛生検査用機器類	4	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	4
04-99 その他の医療衛生機器類	5	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	5
05-02 波動・熱試験計測機器類	5	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	5
05-03 電気試験計測機器類	6	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	6

## 備品・図書調

所属 0000220815 県立高校・中学校 磐田南高等学校

区 分	令和 7年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 6月30日 現在
		数 量	購 入 価 格 (円)	数 量	売 却 価 格 (円)	
05-04 分析化学機器類	2	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	2
05-06 環境化学機器類	3	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	3
05-08 度量衡測定機器類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
05-09 天体気象観測機器類	3	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	3
05-99 その他の試験計測機器類	4	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	4
06-03 繊維染色縫製機器類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
06-04 電気電子機器類	3	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	3
08-01 車両類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
10-05 生物物理化学用器具類	6	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	6
10-06 家庭科用器具類	6	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	6
10-07 音楽用器具類	15	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	15
10-10 地学天文学用器具類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
10-12 体育保健用器具類	18	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	18
10-99 その他の教育用器具類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
12-01 雑機器	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
計	506	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	506

□□□□□□

# 主 要 備 品 調

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	区 分		品 名 ・ 規 格	利 用 状 況	購 入 年 月	購 入 金 額
	大・中	小				
1	02-01	パーソナルコンピュータ周辺機器	パーソナルコンピュータ周辺機器(磐田南高等学校)	授業用 毎日(年約200日)	令和元年9月	円 9,576,727
2	10-12	陸上競技用器具	棒高跳び用マット ニシ F511	体育授業用・部活動用 毎日(年約300日)	平成13年12月	2,247,000
3	05-02	熱試験計測機器	赤外放射温度計 サーモトレーサ TH5104	理科授業用 年約50時間	平成13年2月	1,585,500
4	05-09	気象観測機器	気象観測機器 温湿度計 他	地学授業用 毎日(年365日)	令和3年2月	1,413,610
5	05-04	分光分析機器	自記分光光度計 島津 UV-1200	化学授業用 年約50時間	平成9年3月	1,036,000
6	10-12	室外競技用器具	水球用ゴール 1組 東京産商 TSW-30	体育授業用・部活動用 年約180日	平成11年3月	882,000
7	05-99	試験実験用付属器具	薬品庫	化学授業用 毎日(年365日)	令和5年3月	799,975
8	05-99	試験実験用付属器具	薬品庫	化学授業用 毎日(年365日)	令和5年3月	799,975
9	10-07	鍵盤楽器	グランドピアノ カワイ RX3	音楽授業用 年約380時間	平成9年2月	778,680
10	10-07	管楽器	オーボエ ケース付き	音楽授業用・部活動用 毎日(年約200日)	平成16年3月	565,023
11	10-10	地質学用器具	岩石切断機	地学授業用・部活動用 年約50時間	令和5年3月	507,320
12	01-04	金庫	金庫 オカムラ 444ZHA-Z13	管理用 毎日(年365日)	平成11年3月	497,700
13	01-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー(業務用)室内機2台、室外機1台	体育授業用・部活動用 毎日(年約150日)	令和6年6月	489,392
14	01-04	移動書庫	移動書庫 移動戸棚 オカムラ5個組	管理用 毎日(年365日)	平成14年6月	484,459
15	12-01	雑機器	雑機器 緊急用浄水装置 DCF-1HL	防災用 年1回(動作確認時)	平成10年1月	483,000
16	02-01	その他の情報処理機器	平成28年度校内LANサーバ等一式(磐田南高等学校)	授業用 毎日(年365日)	平成29年3月	475,956
17	10-12	体操用器具	体操用器具 防水帆布製 防水カバー	体育授業用・部活動用 年約50時間	平成元年11月	463,500
18	03-02	顕微鏡	顕微鏡 エクリップスE200POL	地学授業用 年約100時間	平成24年10月	379,357
19	05-99	試験実験用付属器具	圧力がまヤガミ HA240MIV	生物授業用 年約50時間	平成14年11月	375,900
20	05-02	音試験計測機器	四現象オシロスコープ	物理授業用 年約50時間	平成3年12月	373,000

□□□□□□

## 職 員 調

(全日制)

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数 年 月	摘 要
1	校 長	花 崎 武 彦		□ □ □	□ . □	□ □ □
2	副校長	長 谷 川 喜 裕		□ □ □	□ . □	□ □ □
3	教 頭	河 原 崎 正 晴	地歴公民	□ □ □	□ . □	□ □ □
4	事務長	森 川 景 尚	事務総括	□ □ □	□ . □	□ □ □
5	教 諭	高 林 英 次	英 語	□ □ □	□ . □	□ □ □
6	〃	秋 山 昌 秋	英 語	□ □ □	□ . □	□ □ □
7	〃	青 木 和 彦	数 学	□ □ □	□ . □	□ □ □
8	〃	清 水 格	理 科	□ □ □	□ . □	□ □ □
9	〃	朝 比 奈 依 子	国 語	□ □ □	□ . □	□ □ □
10	〃	田 辺 雅 文	理 科	□ □ □	□ . □	□ □ □
11	〃	中 津 川 博 之	理 科	□ □ □	□ . □	□ □ □
12	〃	立 石 紀 子	理 科	□ □ □	□ . □	□ □ □
13	〃	落 合 克 弥	数 学	□ □ □	□ . □	□ □ □
14	〃	下 位 幹 男	地歴公民	□ □ □	□ . □	□ □ □
15	〃	杉 本 千 枝 子	英 語	□ □ □	□ . □	□ □ □
16	〃	平 野 成 宜	数 学	□ □ □	□ . □	□ □ □
17	〃	寺 田 義 彦	英 語	□ □ □	□ . □	□ □ □
18	〃	大 村 岳 秀	数 学	□ □ □	□ . □	□ □ □
19	〃	山 口 博	理 科	□ □ □	□ . □	□ □ □
20	〃	松 浦 義 和	英 語	□ □ □	□ . □	□ □ □
21	〃	須 山 功 豊	地歴公民	□ □ □	□ . □	□ □ □
22	〃	礪 部 典 秀	英 語	□ □ □	□ . □	□ □ □
23	〃	鈴 木 智 久	美 術	□ □ □	□ . □	□ □ □
24	〃	高 橋 宏 典	保健体育	□ □ □	□ . □	□ □ □
25	〃	田 中 秀 樹	地歴公民	□ □ □	□ . □	□ □ □
26	〃	小 金 澤 貴 弘	数 学	□ □ □	□ . □	□ □ □
27	〃	島 崎 和 彦	地歴公民	□ □ □	□ . □	□ □ □
28	〃	大 野 貴 正	国 語	□ □ □	□ . □	□ □ □
29	〃	鳥 井 久 行	理 科	□ □ □	□ . □	□ □ □
30	〃	匂 坂 真 也	保健体育	□ □ □	□ . □	□ □ □

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数 年 月	摘要
31	教諭	岸直人	地歴公民	□□□	□.□	□□□
32	〃	渡邊光子	家庭	□□□	□.□	□□□
33	〃	本間宣資	保健体育	□□□	□.□	□□□
34	〃	増田雄介	理科	□□□	□.□	□□□
35	〃	和久田貴英	情報	□□□	□.□	□□□
36	〃	磯部祐	保健体育	□□□	□.□	□□□
37	〃	坂本崇	保健体育	□□□	□.□	□□□
38	〃	嶋田英雄	国語	□□□	□.□	□□□
39	〃	澤木賀奈予	数学	□□□	□.□	□□□
40	〃	柴田里沙	国語	□□□	□.□	□□□
41	〃	寺田真也	数学	□□□	□.□	□□□
42	〃	山崎秀一	国語	□□□	□.□	□□□
43	〃	坂部美帆	国語	□□□	□.□	□□□
44	〃	鈴木翔太	保健体育	□□□	□.□	□□□
45	〃	池田徹	数学	□□□	□.□	□□□
46	〃	山田愛理	英語	□□□	□.□	□□□
47	〃	杉山修一	数学	□□□	□.□	□□□
48	〃	砂田純志	地歴公民	□□□	□.□	□□□
49	〃	竹中一雅	数学	□□□	□.□	□□□
50	〃	樽松宏征	理科	□□□	□.□	□□□
51	〃	川口優介	理科	□□□	□.□	□□□
52	〃	後藤碧水	英語	□□□	□.□	□□□
53	〃	近藤有貴	地歴公民	□□□	□.□	□□□
54	〃	松永早知	国語	□□□	□.□	□□□
55	〃	伊藤優希	地歴公民	□□□	□.□	□□□
56	養護教諭	山田裕美	養護	□□□	□.□	□□□
57	主任実習助手	林香子	理科	□□□	□.□	□□□
58	主幹	相澤政広	庶務	□□□	□.□	□□□
59	主査	赤塚由紀子	庶務	□□□	□.□	□□□
60	〃	原野紘一	管財	□□□	□.□	□□□
61	主任	寺井裕樹	会計	□□□	□.□	□□□

(定時制)

(令和7年6月30日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数 年 月	摘要
62	教頭	古谷桂吾	数 学	□ □ □	□ . □	□ □ □
63	教諭	後藤昌則	国 語	□ □ □	□ . □	□ □ □
64	〃	落合忍	保健体育	□ □ □	□ . □	□ □ □
65	〃	鈴木隆明	地歴公民	□ □ □	□ . □	□ □ □
66	〃	久野暢	理 科	□ □ □	□ . □	□ □ □
67	〃	沼野幹彦	商 業	□ □ □	□ . □	□ □ □
68	〃	鈴木啓介	数 学	□ □ □	□ . □	□ □ □
69	〃	遠藤正紘	保健体育	□ □ □	□ . □	□ □ □
70	〃	村田紗季	英 語	□ □ □	□ . □	□ □ □
71	〃	鷺野詩織	国 語	□ □ □	□ . □	□ □ □
72	養護教諭	老川晴代	養 護	□ □ □	□ . □	□ □ □
73	主事	袴田遼	庶 務	□ □ □	□ . □	□ □ □
平均年数					□ . □	□ □ □

## 臨時職員・会計年度任用職員

(全日制)

(令和7年6月30日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数 年 月	摘 要
1	臨時的任用職員 (実習助手)	山 口 青 夏	理 科	□ □ □	□ . □	□□□
2	会計年度任用職員 (外国語指導講師)	レイエス カルミナ	英 語	□ □ □	□ . □	□□□
3	会計年度任用職員 (非常勤講師)	大 塚 久 世	国 語	□ □ □	□ . □	□□□
4	〃	濱 田 由 記 子	国 語	□ □ □	□ . □	□□□
5	〃	河 合 豊	地 歴 公 民	□ □ □	□ . □	□□□
6	〃	高 木 鋼 一	数 学	□ □ □	□ . □	□□□
7	〃	深 谷 雅 弘	数 学	□ □ □	□ . □	□□□
8	〃	内 藤 靖 史	理 科	□ □ □	□ . □	□□□
9	〃	松 本 文 彦	理 科	□ □ □	□ . □	□□□
10	〃	榊 原 彩	音 楽	□□□	□ . □	□□□
11	〃	米 田 三 枝 子	書 道	□ □ □	□ . □	□□□
12	〃	大 原 薫	英 語	□ □ □	□ . □	□□□
13	〃	高 安 喬	英 語	□ □ □	□ . □	□□□
14	会計年度任用職員 (非常勤労務職員)	今 村 久	用 務	□ □ □	□ . □	□□□
15	〃	竹 内 弘 治	用 務	□ □ □	□ . □	□□□
16	〃	大 和 努	用 務	□ □ □	□ . □	□□□
17	会計年度任用職員 (部活動指導員)	福 村 巖 輝		□□□	□ . □	□□□
18	学校医	鈴 木 智 隆	内 科	□ □ □	□ . □	□□□
19	〃	右 藤 智 啓	内 科	□ □ □	□ . □	□□□
20	〃	青 島 周 明	眼 科	□ □ □	□ . □	□□□
21	〃	袴 田 桂	耳 鼻 科	□ □ □	□ . □	□□□
22	学校歯科医	大 竹 伸 明	歯 科	□ □ □	□ . □	□□□
23	学校薬剤師	澤 田 雅 佳	薬 剤 師	□ □ □	□ . □	□□□

(定時制)

(令和7年6月30日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数 年 月	摘 要
24	臨時的任用職員 (教諭)	高 野 航 希	英 語	□ □ □	□ . □	□□□
25	会計年度任用職員 (非常勤講師)	深 谷 雅 弘	数 学	□ □ □	□ . □	□□□
26	〃	澤 田 奈 緒	英 語	□ □ □	□ . □	□□□
27	〃	林 美 佐 子	家 庭	□ □ □	□ . □	□□□
28	〃	浅 野 尚 子	美 術	□ □ □	□ . □	□□□
29	会計年度任用職員 (スクールソーシャルワーカー)	鈴 木 洋 貴		□ □ □	□ . □	□□□

□□□□□□

## 職 員 の 年 齢 調

(令和7年6月30日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0 人	
20歳以上30歳未満	6 人	
30歳以上40歳未満	14 人	
40歳以上50歳未満	11 人	
50歳以上56歳未満	13 人	
56歳以上61歳未満	15 人	
61歳以上	14 人	暫定再任用職員
計	73 人	平均年齢 49歳3月 (全日制 47歳10月、 定時制 52歳1月)

# 健 康 管 理

## 1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 74 人 職員数 74 人
受 診 率	100.0 %
県平均受診率	100.0 %

(1) 未受診の理由

## 2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		( ) 人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要治療	( ) 人
B 2		要経過観察	( ) 人
C 1	勤務をほぼ正常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要治療	( ) 人
C 2		要経過観察	( ) 人
D 1	平常の勤務でよい。	要治療	22 (22) 人
D 2		要経過観察	24 (24) 人
D 3		医療不要	26 (26) 人
区 分 者 計			72 (72) 人
未 区 分 者 数			1 ( 1) 人
合 計			73 (73) 人

(1) 管理区分A～C 2 該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由

新規採用 1 人